

「頑張る学校応援プラン」  
～ふくしまの挑戦と戦略～  
令和元年度 学校教育指導の重点

ふくしまの「家庭学習スタンダード」を活用した  
家庭学習の充実に向けた実践事例集 VOL.2

保存版

## ふくしまの「家庭学習スタンダード」

**R**esearch  
自分を知る

自分の課題を客観的にとらえる。

**P**lan  
計画する

自分の課題に合った目標や計画を立てる。

**D**o  
自ら学習する

計画にそって主体的に学習する。

**A**ction  
見直す

学習の内容・方法を見直し、修正する。

**C**heck  
確かめる

学習の結果や取組を振り返り、確かめる。

**自己マネジメント力**

授業は先生や友達と力を合わせて……  
家庭学習は自分の力で……  
だから育てたい!

現代の子どもたちは、テレビやゲーム、スマホなど、誘惑が多い環境の中で、家庭学習(宿題+自主学習)に取り組んでいくことになります。だからこそ、「R-PDCAサイクルを通して、自分で学習や生活を改善する力」、つまり、「自己マネジメント力」が必要になるのです。

変化の激しい時代にあって、子どもたちが、豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として長していくことは、私たち大人の共通の願いです。そのような子どもたちの未来像を描くとき、学校での学習はもちろんのこと、家庭での学習を充実させていくことがとても大切になります。

本リーフレット「ふくしまの「家庭学習スタンダード」」は、子どもたちに、家庭学習を通して「自己マネジメント力」を育みたいという願いを込め、作成しました。本リーフレットを仲立ちにして、学校、地域がそれぞれの役割を果たし、子どもたちの家庭学習を充実させていきたいと思います。

平成29年12月 福島県教育委員会



令和2年2月  
福島県教育庁義務教育課

☆すべてのデータを福島県教育庁義務教育課WEBサイトからPDFでダウンロードすることができます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/gimukyoiku55.html> または 福島県教育庁義務教育課

検索





# 家庭学習の充実に向けた実践事例集について

この実践事例集は、ふくしまの「家庭学習スタンダード」を基軸とした「授業」と「家庭学習」の有効な接続等により、自己マネジメント力の育成を図っている県内の小・中学校18校を訪問し、その特色ある取組について福島県教育庁義務教育課がまとめたもので、平成31年2月発行の実践事例集に次いで、第2集(VOL.2)です。2つの事例集で、家庭学習充実に関する県内37校の特色ある取組を御覧いただくことができます。

本事例集が、各学校等における家庭学習充実に向けた取組の一助となれば幸いです。

## ～ 目 次 ～

### 【事例編】 小学校

- 家庭学習に主体的に取り組み、日頃の学習内容を振り返る力の育成  
桑折町立睦合小学校…………… 1
- 教職員が一丸となって児童の自己マネジメント力を高める取組  
二本松市立東和小学校…………… 2
- 家庭と連携を図った継続的な指導と児童の意欲を高める取組  
郡山市立桜小学校…………… 3
- 学び直しの徹底と児童の学びに向かう力を高める指導  
須賀川市立長沼小学校…………… 4
- 「自ら学ぶ力」を育てる「家学タイム」の取組  
西郷村立小田倉小学校…………… 5
- 授業と家庭学習の連動を図った学びのサイクルの構築  
喜多方市立松山小学校…………… 6
- 望ましい学習習慣の形成に向けた意識的・計画的な取組  
下郷町立旭田小学校…………… 7
- 授業と家庭学習の連動により学ぶ意欲を高める指導  
相馬市立大野小学校…………… 8
- 家庭学習についての研修の充実を図り児童の自主性を高める指導  
いわき市立高野小学校…………… 9

## 【事例編】 中学校

- 内容・方法の指導と小中接続によるノート指導  
福島市立渡利中学校…………… 10
- スケジュール手帳の有効活用による自己マネジメント力の育成  
本宮市立白沢中学校…………… 11
- PU(パワーアップ)ノートを活用した自己マネジメント力の育成  
玉川村立泉中学校…………… 12
- 生徒の自立を促す学習支援と生徒の頑張りに寄り添う指導  
三春町立岩江中学校…………… 13
- 効率的な学習計画により家庭学習の質を高める指導  
白河市立表郷中学校…………… 14
- 短期間のR-PDCAサイクルで自己マネジメント力を高める指導  
会津美里町立高田中学校…………… 15
- 「自己マネジメント力」の具体化と学校と家庭学習をつなぐ取組  
南会津町立荒海中学校…………… 16
- きめ細かな家庭学習の点検で目的意識を高める指導  
富岡町立富岡第一中学校三春校…………… 17  
富岡町立富岡第二中学校三春校…………… 17
- 生徒の自立を促す学習支援と学習環境の整備  
いわき市立小名浜第二中学校…………… 18

## 【資料編】

- 1 家庭学習の手引き等…………… 19
- 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等…………… 26
- 3 教職員の共通理解…………… 30
- 4 保護者へのアプローチ…………… 33
- 5 その他…………… 36

# 【事例編】

【事例編】には、県内の小・中学校、それぞれ9校ずつ、計18校の家庭学習充実に向けた特色ある取組を掲載しています。





# 家庭学習に主体的に取り組み、日頃の学習内容を振り返る力の育成

桑折町立睦合小学校

- 子どもたちが、お互いの自主学習ノートを見合ったり、自分の学習を振り返ったりすることとおして、主体的な取組となるよう工夫している。
- 家庭学習に対する保護者の関心を高める取組を工夫している。

## 🔑 自学ノートのレベルアップを目指して

### 🔍 Check 自主学習ノートの回覧週間の設定

「自主学習ノート回覧週間」を設定し、自分の学年の下の学年にノートを回覧（6年→5年…）し、付箋などに感想等を記入してもらおう。また、6年生には、中学生（醸芳中学校）のノートを見る機会を設定しており、6年生、中学生、双方にとってよい刺激となっている。



## 🔑 保護者の関心を高めるための取組

### 🔍 Check 「お父さん・お母さんに見てもらおう週間」の実施

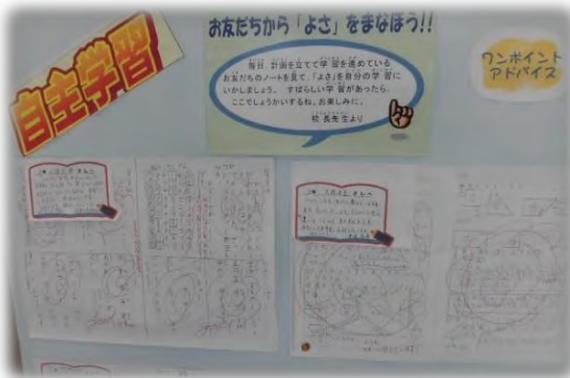
個別懇談会の際、全学年の自主学習ノートを控え室となる図工室に展示し、保護者から付箋に励ましの一言を記入していただく。保護者は、自分の子どもだけでなく、他の子どものノートも見てメッセージを記入して下さっていた。保護者からメッセージをもらったことで、さらに意欲をもって取り組む姿が見られた。



### 🔍 Check 自学ノートの掲示・展示の日常化

教室後方の掲示板などに、自学ノートのコピーを掲示したり、やり終えたノートを展示したりして、学級内でよいところ等を日常的に見合い、自分の取組の参考にできるように、環境整備に努めている。

また、教室のみならず、廊下には、『お友だちから「よさ」を学ぼう!!』コーナーが校長先生により設置され、子どもたちのすばらしいノートの取組を紹介し、称賛・励ましの言葉をおくっている。



### 🔍 Research 桑折町PTA連絡協議会での取組

#### シャベローゼ!のキーワード

「シャベローゼ!」のキーワード 「学びのスタンダード」推進のための 「家庭学習生活習慣のポイント」	生活リズム 睡眠時間 食事	家庭学習	手伝い
	読書 新聞	FREE	あいさつ きまり
	TV・ゲーム パソコン YOUTUBE等	親の姿勢	スマホ 携帯電話 SNS

保護者同士が子どもの家庭学習等について話をする機会を町PTA連絡協議会の場に設定し、保護者の関心を高める上で効果を上げた。

#### 《取組の成果》

- 自主学習ノートを異学年に回覧したり、称賛のメッセージを書いてもらったりすることで、家庭学習への意欲に高まりが見られ、主体的に取り組むようになってきた。
- 学習内容の改善が見られ、授業で習ったことの振り返りやテストで間違った問題の復習など、自分の課題に即した自主学習に取り組めるようになってきた。
- 自分が興味をもったことをインターネットや辞典で調べ、絵や図などを使って自分なりに工夫してまとめられるようになってきた。

# 教職員が一丸となって児童の自己マネジメント力を高める取組

二本松市立東和小学校

- 学力向上推進計画を作成し、授業改善と家庭学習の奨励に全教職員で取り組んでいる。また、その取組を家庭にも丁寧に説明している。
- 児童の実態に合わせて家庭学習の手引きを作成・配布するとともに、家庭学習カードを用いて児童自ら計画を立て、振り返り、次の学習に生かすサイクルが確立している。

## 学力向上推進計画を基にした 家庭学習の定着を図る共通実践



### 「学力向上推進計画」の策定

8 学力向上推進計画

- ねらい  
児童が将来にわたって自己実現を図ることができるようにするために、日々の授業を基盤とし、義務教育の9年間を見据えて、一人一人に確かな学力を育むことができるようにする。
- 内容  
(1) スキットとタイムについて  
授業スタンダードを活用し、授業の質的改善を図る。  
(2) スキットとタイムについて  
(ねらい) 学習内容の補充・発展を図るとともに家庭学習の仕方について指導する。  
(日 時) 火曜日、木曜日 13:15～13:35  
(内容等) 補充・発展問題  
(留意点) 授業との関連を図る。  
(6) 家庭学習について  
① 時間の目安  
○ 学年×10+10分 (1年…20分、2年…30分、3年…40分、4年…50分、5年…60分、6年…70分)  
② 留意点  
○ 宿題の他に「自主学習」を推奨し、自分で課題を設定し、自分の課題に沿った学習に取り組ませるようにする。(「家庭学習スタンダード・家庭学習の手引き」の活用)  
○ 学年に応じて、児童の意欲を高め、家庭学習の習慣化を図る手立ての工夫をする。

毎週火曜日と木曜日に、学習内容の補充・発展を図ったり、家庭学習の仕方について指導したりする「スキットとタイム」を設定している。家庭学習カードへの記入、家庭学習への取り組み方の指導、家庭での生活時間や家庭学習の取組についての振り返りなどを実施している。



### 児童の実態に応じた 「家庭学習の手引き」の作成

## 家庭学習の手引き

二本松市立東和小学校 第6学年

**■家庭学習について**  
○ 「読む」「書く」「計算」の学力の土台になる力をつけます。  
○ 自分で課題を見つけ、解決したり追究したりする自主学習に取り組みます。

**■学習時間のめやす**  
**70** 分

**■家庭学習のポイント**  
○ 生活リズムを見直しましょう。  
・ 早ね、早起き、朝ごはんの習慣を身に付ける。  
・ メディア活用の時間を自己管理する。  
○ 計画的に取り組ましましょう。  
・ 学習を始める時刻と時間を決める。  
・ 学習する内容を決める。  
・ 学習する方法を決める。  
○ 目標に向かってがんばりましょう。  
・ 集中できる、明るい場所で学習する。  
・ 正しい姿勢で取り組む。  
・ 学習内容を確認してもらおう。

**■学習を始める前に**  
○ 学校からのプリントや連絡帳を家の人に見せましょう。  
○ テレビや音楽などは消しましょう。  
○ テーブルや机の上や周りを整頓しましょう。  
○ 学習に必要な用具を準備しましょう。  
○ 学習のめあてを決めましょう。  
○ 学習を始める時刻と時間を決めましょう。  
○ 学習内容と方法を決めましょう。  
○ 正しい姿勢で勉強しましょう。

児童の発達段階に応じて、家庭学習への取り組み方、学習内容等を記載した「家庭学習の手引き」を配布している。

授業参観後の学年懇談会で、各学年で求める家庭学習について丁寧に説明したり、学校便り等で取組の様子を伝えたりすることで、各家庭へ周知を図り、協力を得ている。



### 「家庭学習の計画」

## 家庭学習カード

月日	4月22日	4月23日	4月24日
曜日	月	火	水
命題	いじんのうた	いじんのうた	読書
宿題	いじんのうたのプリント	いじんのうたのプリント	いじんのうたのプリント
自学	いじんのうたがわかる。	自分でいじんのうたを覚える。	自分でいじんのうたを覚える。
振り返り	35分いじんのうたがわかる。	35分いじんのうたがわかる。	35分いじんのうたがわかる。
振り返り	3:48	4:00	2:10
学習時間	51	51	51
コメント	自分でいじんのうたがわかる。	今日は理科のプリントを覚えました。	今日は、いじんのうたを覚えました。
振り返り	自学、自分でいじんのうたがわかる。	いじんのうたを覚えました。	いじんのうたを覚えました。

5	音読	たんしほほ	○	家	学校
10	しゅくだい	プリント2まい	○	家	学校
(金)	自しゅ学しゅう	プリント	○	家	学校
	時間	40 分間	家	読書	
(土)	音読	たんしほほ	○	家	学校
(日)	しゅくだい	ドリル	○	家	学校
(日)	自しゅ学しゅう	プリント	○	家	学校
	時間	30 分間	家	読書	
振り返り	今週読んだ本	花まる まる	3回	読書	
振り返り	自しゅ学しゅう	6回	学しゅう時間	(合計)	240分間

家庭学習カードにコメントを記入し、児童の取組を称賛している。また、学期ごとに児童の頑張りを学校便りでも紹介している。

5年 自主学習表 組 番 名前( )

日	曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24日	合計	達成率	
5年	予定	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	90	90	100%
	実績	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	自主	80	60	66%



# 家庭と連携を図った継続的な指導と児童の意欲を高める取組

郡山市立桜小学校

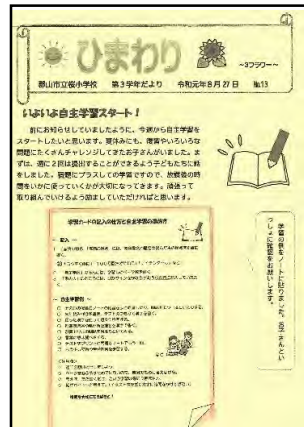
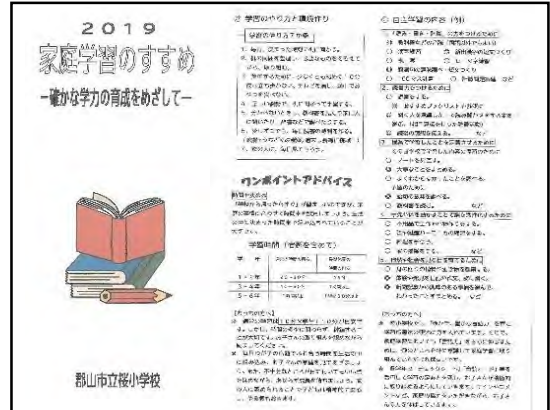
- 学級・学年懇談会等で、「家庭学習の手引き」をもとに、学校と家庭が果たすべき役割を確認したり、学校としての取組を説明したりすることで、家庭学習に対するの共通理解を図っている。学年だよりでも、目指す子どもの姿や効果的な学習の仕方を取り上げて協力を呼びかけている。
- ノートコンテストを実施したり、自主学習コーナーを設置したりすることで、ノートづくりや自主学習に対する意欲を高めている。また、ノート指導や自主学習の内容についての指導を継続的に行い、子どもたちの家庭学習への取組を価値付け、質が向上するよう支援している。

## 家庭との連携の強化



### 学校と家庭の役割を明確にした協力体制の構築

年度初めに「家庭学習のすすめ」を各家庭に配布し、学校の方針を保護者に伝えている。また、授業参観日には学校の取組を直接伝え、保護者からの協力を得ている。さらに、児童の実態に合わせて、各学年からも学校での取組と家庭での取組について懇談会やお便りをとおして随時説明を行っている。



### ばばたけ 家庭学習の仕方

1 家庭学習の5(マイブ)ポイント

- ① 自ら、自らを高める。(心掛からるもの)
- ② 何となくやる気のない日、勉強も何となくとできる。
- ③ 勉強は、おもしろいものとする。
- ④ 学びたいもの、学びたいことをやる。
- ⑤ 学びたいもの、学びたいことをやる。

2 家庭学習の基の方

【目的】

- 学習して身につくことを覚える。
- 学んだことを自分の言葉で説明できる。
- 学んだことを自分の言葉で説明できる。

【効果 (ついでに)】

- 学習の習慣を身につける。
- 学習の習慣を身につける。
- 学習の習慣を身につける。

【学習内容】

- 自分で調べたいもの、自分で調べたいもの。
- 自分で調べたいもの、自分で調べたいもの。

### わかる! できるようにするために (自己マネジメント力) を伸ばそう!

(Research 自己理解)

- 自分の課題を客観的にとらえよう!
- 「何がわかって、何がわかっていない?」
- 「何ができて、何ができていない?」

(Plan 計画管理)

- 自分の課題にした目標や計画を立てる。
- わかる! できるようにするために、計画によって進んで学習するぞ!

(Do 自主学習)

- 計画を立てて主体的に学習する。
- 「ただでなく、親も自分のためにも、計画によって進んで学習するぞ!」

(Check 確認)

- 学習の進捗や取り組みを振り返り、確かめる。
- 「疑問に集中してできなかった!」
- 「自分一人ではわからない!」
- 「テストの勉強が伸びないかな?」

(Action 実行)

- 学習の内容や方法を再見し、修正する。
- 「休日の自主学習の時は、1時間以上!」
- 「好きな学習を始めたために、学習内容や方法を修正する!」
- 「勉強は大事! だけど、少額でも自主学習をやらせよう!」

【お便りでの協力依頼】

【学年の実態に応じた家庭学習の内容指導】

【家庭学習で目指す姿の自校化】

## 家庭学習への意欲を高める取組



### 児童の取組の価値付けと称賛

家庭学習の内容についての指導及びノートづくりの指導をしてきたことで、目的を明確にした自主学習が増えてきている。教師の日々のチェックだけでなく、ノートコーナーへの展示やノートコンテストを実施し、友だちや他学年の児童から称賛やアドバイスをもらうことで、家庭学習への意欲が高まってきている。

### 第6学年自主学習パワーアップカード

〈自主学習の取組〉

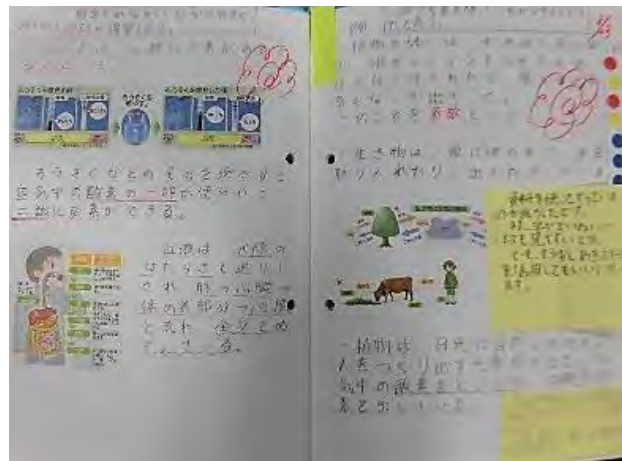
- 1 自主学習の目的を明確にし、日ごと、月ごとに決めて書く。
- 2 「1日1ページ」を目標にがんばる。
- 3 その進捗をメモリーカードに書く。
- 4 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)
- 5 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)
- 6 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)
- 7 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)

〈自主学習の成果〉

- 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)
- 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)
- 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)

〈自主学習の振り返り〉

- 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)
- 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)
- 先生や友達に見せたいものがある。(友達はいいね!、感想は紙に書いておく)



【友だちからの称賛のシールやアドバイス】

# 学び直しの徹底と児童の学びに向かう力を高める指導

須賀川市立長沼小学校

- 宿題や授業等で取り組んだプリントで間違えた問題をそのままにせず、チャレンジタイムの時間に直し直したり、理解が不足している部分は、覚え直したりする機会を設定している。
- 自主学習の取組を可視化し、努力の足跡が分かる掲示や「自主学習の取り組み方」について学級活動で話し合うなど、児童が粘り強く学びに向かう力を高める指導が発達段階に応じて展開されている。

## 🔑 確実に「分かる」ようにさせる取組



### 「学び直し」の徹底



家庭学習の内容を教師が「チェック」し、付箋を貼って児童に返却する。児童は、間違いに気づき、見直すことで、家庭学習内容を振り返る。また、間違いやつまずきを「学び直し」時間を設定し「そのままにしない、させない」工夫をしている。

## Plan 自らの学習を調整する力の向上

家庭学習の計画 実施するものに○をつけよう。 4月

日(曜)	宿題	自主学習	時間	担任	備考
1日(月)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
2日(火)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
3日(水)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
4日(木)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
5日(金)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			

「家庭学習の手引き」と一体型の計画表。帰りの短学活時に学習の計画を立てる。担任は児童の計画をチェックし、家庭学習の内容について助言をする。帰宅後はやるべきことが明確になっているので児童が迷わず家庭学習に取り組むことができる。

また、学校と家庭で共通理解を図り、児童の家庭学習の状況を担任と保護者の複数の目で確認している。

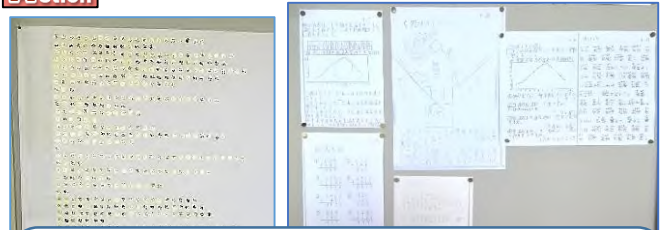
## Research Plan 友達の取組と比較して自分の課題を知る (第3学年)

「自主学習の取り組み方」をテーマに、学級活動で話し合っている。どのような学習をしているのか意見を交換し、自主学習ではどのような学習に取り組めばよいかを確認している。

「間違えた問題を、自主学習で再度やってみよう」など、マンネリ化を防ぐとともに、自分の課題を客観的にとらえるよい機会となっている。粘り強く学びに向かう力を高めている。



## 教室掲示による学びの記録の可視化



(写真左) やり終えた自主学習の冊数をシールの枚数で掲示し、家庭学習の取組を可視化している。  
(写真右) 家庭学習の質を高めるために、参考にしてほしい特徴的な自主学習の取組を掲示している。

## 🔑 学ぶ意欲を高める指導



### 個に応じたコメントの記入

児童への励ましの言葉を自主学習ノートにコメントしている。家庭学習の取り組み方や、内容等に関する具体的なアドバイスや称賛を個に応じてコメントし、継続して取り組む意欲を高めている。

①計算スキル⑧

10週分もこの知識で自主学習を進めてほしい。

図書館の利用のようす

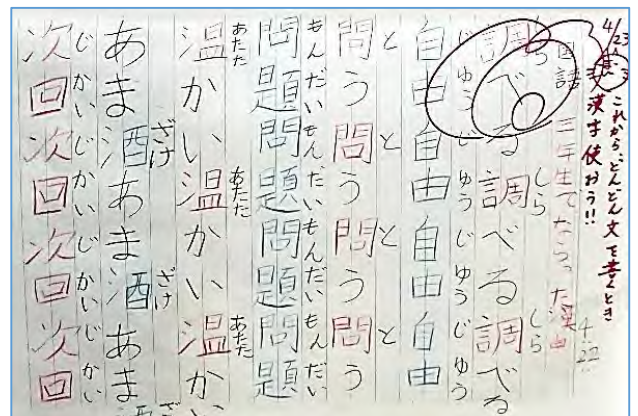
	先週	今週	合計
利用した	5	6	11
利用しない	6	4	10
合計	11	10	21

①先週も今週も図書館を利用した人は何人ですか。 A. 5人

②上の表の②に入る数を書きましょう。

④あは、どのような人を表していますか。アで答えましょう。

①先週は図書館を利用して、今週は利用しなかった人。イ先週は図書館を利用しないで、今週は利用した人。ウ先週も今週も、図書館を利用した人。 A. 7



# 「自ら学ぶ力」を育てる「家学タイム」の取組

西郷村立小田倉小学校

- 毎日10分間の「家学タイム」を日課表に位置付け、家庭学習の計画を立てる時間を全学年で設定している。
- 今年度は、全校で系統的に取り組むことで自ら学ぶ力を育成したいという思いから、家庭学習において「身に付けたい力」や「家学タイムの系統」「全校統一CD」を作成・使用している。

## 「自分の学習状況を振り返る力、計画を立てる力、実行する力」の育成



### 「家学タイム」の取組



小田倉小学校では、5校時終了後に10分間の「家学タイム」を設定している。「家学タイム」とは、その日の授業を振り返り、家庭学習では何をすればよいかを考える時間のこと。

最終的には、自分で一日の学習内容から補充が必要な内容やもっと調べてみたい内容に取り組んだり、次の日の授業の予習をしたりする等、自分で計画・実行できることを目指して指導している。

また、教師の指示をできるだけ少なくしたいという思いから、全校統一の音楽CDを使用。音楽がかかると同時に活動を開始し、曲の切り替えを合図に、子どもたちは次の活動へと自主的に移っていく。

## 《「家学タイム」の系統》

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
始める前	CDを準備	子の係がCDや家学タイム揭示を準備	必要なもの(連絡帳、家学ファイル、漢字ノートなど)を出す			
家学タイム	1学期 音楽がなかったら、席につく、帰りの用意をする。 例) 読み聞かせ 振り返り 2・3学期 連絡帳にかく、1日を振り返る文を書けるようになる。	1・2学期 連絡帳へ必要なメモが書けるようにする。 3学期 家学ファイルへの移行を考慮して2週間程度カードに書く練習をする。 5 帰りの用意	家学ファイルの書き方を知ら、一週の流れが分かる。音楽の切り替えて準備や学習を進めることができるようにする。 1 今日の漢字学習 2 連絡記入 3 振返記入 4 担任印・自分を役立てる・整理整備 6 校時準備	1 指定自学を行う ・係の子がおすすの自学を伝える ① 連絡事項・今日の学習の振り返りを記入する ② 自主学習へ取り組む (宿題は自宅で行う、あくまでも自主学習計画・実行の力を育てる) ③ 片付ける・机の中の整理整備 ※ 担任確認印は要日		
終わったら	CDや、家学タイム揭示を片付ける 帰りの会・さようなら					
宿題 & 自学	①音読 ②漢字 ③プリント (国・算) ④作文・日記 ⑤自主学習	①音読 ②漢字 ③プリント (国・算) ④作文・日記 ⑤自主学習	①音読 ②漢字 ③プリント (国算理社) ④作文・日記 ⑤自主学習 (1ページ)	①音読 ②漢字 ③プリント (国算理社) ④自主学習 (1ページ)	①音読 ②漢字 ③プリント (国算理社) ④自主学習 (1～2ページ)	①音読 ②漢字 ③プリント (国算理社) ④自主学習 (2ページ)

## 「家学タイム」の実際【4年生の例】

- ① 今日の漢字  
→ 宿題の漢字、新出漢字の練習をする。
- ② 明日の連絡事項  
→ 連絡帳に翌日の持ち物等を記入する。
- ③ 学習の振り返り  
→ 書き出し語の指定をしたり、振り返ってほしい内容の焦点化を図ったりする。
- ④ 自主学習の選択・決定  
→ 自分で決められるようになるまでは選択制も。
- ⑤ 自主学習に取り組む  
→ 自分のペースで自主学習に取り組む。  
(帰宅後「何をやるのかな」と悩む時間の削減)  
※開始10分で終了

## 《取組のよさ》

- 系統に基づき、学年によって宿題の量や質の共通理解が図られるようになった。
- 自主学習の質の向上につながった。  
(教科だけではなく、単元や「この問題」といった具体的な内容を決められる児童が増えてきた。)
- 習慣化に向けて、リズムとテンポで学級全体が動いているので、自主学習の内容を決められないでいる児童への個別対応にあたる時間が生まれるようになった。
- 担任による創意・工夫がしやすい。

## 《今後の目標・展望》

- ・ 系統に基づく共通理解・共通実践  
→ 次なる段階へ(共通基盤の上に各担任による創意工夫)
- ・ 研究実践公開での外部への取組の発信
- ・ 取組のよさ・子どもたちの姿を各家庭に発信  
→ さらなる協力体制づくり、子どもの自ら学ぶ力の育成

## 家学タイム

通常日課 14:25～14:35  
短縮日課 13:50～14:00

### 【順序】

- 1 一日の学習のふりかえり
- 2 自主学習の内容決め  
予習・苦手内容・興味
- 3 自主学習に取り組む

### 【約束】

- 席を立たない
- 静かに取り組む

### 〈自主学習ノートの使い方〉

日付 内容 かかった時間  
いいね!!!

- できなかった内容をできるようにしよう
- もっと調べてみたいことをもっと調べよう・解こう
- 明日の予習をしよう



(家学タイム高学年用指示)

## 小田倉小学校 家学タイム CD

- 1 ホールニューワールド (今日の漢字指導)
- 2 くまのプーさん (連絡記入・学習確認)
- 3 ミッキーマウスクラブマーチ (振り返り記入)
- 4 となりのトトロ  
(担任印、自分を役立てる、6準備)
- 5 トランペット吹きの休日 (帰りの用意)
- 6～11 図工 music

10分間のオリジナルCDを作成・準備。このCDのおかげで、教師の指示がなくても児童たちは自主的に活動できるようになっている。

# 授業と家庭学習の連動を図った学びのサイクルの構築

喜多方市立松山小学校

- 家庭学習を通じて授業内容の一層の定着を図る取組や、発展的な宿題を通じて授業内容の一層の強化を図る取組等、家庭学習を効果的に活用した授業により、学びのサイクルを構築し、習慣化を図っている。
- 「学習カード」で毎日の家庭学習の計画・実践・振り返りをさせ、また、保護者とともに家庭学習を振り返る「家庭学習チェックシート」に取り組むことで、自己の取組を客観的に認知する力を高めている。

## 学びのサイクルの構築を目指して



### 授業と家庭学習の連動

目的をもって家庭学習に取り組むことができるように、授業内容を定着させるための学習、教材をより深く理解するための学習、学習した内容を活用させた学習に取り組ませている。

授業では、これらの家庭学習を生かして、導入場面での復習の工夫、家庭学習を生かした展開場面の工夫、次時へ向けた家庭学習内容の提案などを行っている。

授業と家庭学習が連動することで、児童の学習意欲が高まっている。

## < 単元計画への位置付け >

次	時	学習活動	教師の支援	主な評価基準	家庭学習との接続 ※授業に活かす内容【音読】
一次	1	・相手を知りたいことに合わせて案内するという学習の見直しを立てる。	・自分がお客さんの立場だったら、どんな案内が分かりやすいのかを考え、臨機応変な案内ができるようになるという単元のゴールを知らせる。	・図や資料から手がかりが必要な資料を選んで案内することに意欲的に取り組もうとしている。(発言・ワークシート)	◎案内をする学習の意気込みや不安なこと等を考えてくる。 ↓
二次	2	・問いの合わせをもとに、お客さんが知りたいことを考える。	・ショーの時間と時計の時刻を関連づけて考えさせるために、時計の模型を準備し、針を動かして捉えさせる。	・問いの合わせの言葉から、お客さんが知りたいことを理解している。(発言・ワークシート)	※次時以降の課題設定 場所や時間を示す言葉を考えてくる。 ↓

単元計画に家庭学習を位置付け、授業へ生かす内容を明記している。児童の負担を考え、継続して取り組めるよう配慮している。

## < 授業研究の視点 >

### 視点1 「問い」や「思い・願い」を引き出す工夫

- ・ 知的好奇心を高める課題提示の工夫
- ・ 教師の実演から、子どもの気付きや発言を引き出し、学習課題を設定することで、課題解決の意欲を高める。

### 視点2 対話的な学びの工夫

- ・ 家庭学習を生かした授業展開
- ・ 事前に家庭学習で考えてきた案内文を使って話し合いを進めることで、自分の意見をきちんと整理して話すことができるようにする。
- ・ 目的を明確にした「対話の場」の設定
- ・ グループの中で自分の意見を伝え、自分が考えてきた案内よりもよりよい案内になるよう、互いのよい点や改善点について話し合う。

### 視点3 学びを深める振り返りの工夫

- ・ 思考の流れを振り返る場の設定
- ・ 本時の授業の中で出た意見をもとに、本時の授業を振り返ることで、友達の見解のよいところや自分が案内する際に気をつけようと思ったことをまとめ、次時への意欲を高める。

授業研究では、視点を3つ設定し、授業と家庭学習との連動を図っている。

視点1 「問い」や「思い・願い」を引き出す工夫  
視点2 対話的な学びの工夫  
視点3 学びを深める振り返りの工夫

家庭学習の取組が授業改善の視点となっている。

## 「自己マネジメント力」を育む働きかけ



### 学習カードをもとに学習の仕方を指導

学習計画表		6年 番名前	
日付	家 族	宿題・持ち物など	自主学習
／			
(月)	【 分】	予定	実際
／			
(火)	【 分】	予定	実際
／			
(水)	【 分】	予定	実際
／			
(木)	【 分】	予定	実際
／			
(金)	【 分】	予定	実際

学習カードには、家庭学習の計画・実践・振り返りを記入させていく。毎日の家庭学習の取組が可視化され、自己の取組を客観的に振り返ることができる。また、教師は、学習カードを点検し、学習内容や方法、時間、ノートの使い方など具体的に指導している。



### 家庭学習チェックシートで自己診断

家庭学習チェックシート

年 前 名 前

※ 授業のあとにしっかりと、自分の家庭学習のようすをのぞいてみよう！  
※ 毎日、この中から決めて取り組もう！  
※ 授業のあとにしっかりと、決めてついでにのぞいてみよう！  
※ できたらつくったこととして、日にちを書き入れよう！のぞいたら、日にちを書き入れよう！

項目	◎	○	△	×
4 家庭学習の振り返り				
5 授業の振り返り				
6 授業の振り返り				
7 授業の振り返り				
8 授業の振り返り				
9 授業の振り返り				
10 授業の振り返り				
11 授業の振り返り				
12 授業の振り返り				
13 授業の振り返り				
14 授業の振り返り				
15 授業の振り返り				
16 授業の振り返り				
17 授業の振り返り				
18 授業の振り返り				
19 授業の振り返り				
20 授業の振り返り				

※ 反省してみよう。

① ◎3点、○2点、△1点とし、レーダーチャートに点数を入れてみよう。  
② 次の目標を書きしてみよう。

2ヶ月に1回保護者ととともに家庭学習を振り返る機会を設定している。自己評価と他者評価の差を意識することで、「自己マネジメント力」を育成する。振り返る項目は6つある。◎○△で記入し、点数化したものをレーダーチャートに表し、可視化している。集計・分析し、指導に生かしている。

# 望ましい学習習慣の形成に向けた意識的・計画的な取組

下郷町立旭田小学校

- 「家庭生活・学習カード」の活用をはじめとする、自己マネジメント力育成のための取組を行っている。
- 「家庭学習スタンダード」や「下郷町四つ葉のクローバープラン」を基にした望ましい学習習慣形成のための保護者への呼びかけ、啓蒙を意識的・計画的に行っている。



## 家庭学習スタンダード等を踏まえた学習習慣づくり



### 「家庭生活・学習カード」の活用

家庭学習に目標をもって取り組ませながら計画的、自主的な学習の習慣を身に付けさせるために「家庭生活・学習カード」の活用を図っている。

カードは、低・中・高学年用に分けて作成しており、各学年の実態や発達段階に応じて統一して盛り込む内容について共通理解を図りながら作成している。

特に自己マネジメント力を育成するため、全学年で「家庭学習をスタートする時間」をめあててに書かせることにしている。

また、このカードは1年間累積し、学年末に家庭に返却することになっている。



## 春休みの学習習慣づくり

他の長期休業時より、自由度が高い春休みの学習習慣づくりを大切にしている。

新年度の学習にスムーズに移行できるように、春休み中の課題を学年ごとに提示し、保護者の理解や協力を得ながら進めている。

学習を進める上では、「毎日同じ時間帯に同じペースで学習する習慣をつける」ということを大切にさせている。

### 春休みの学習について 下郷町立旭田小学校

春休みは子どもたちにとって自由に過ごす時間が多くなりますが、その中で学習時間はしっかりと確保できていますか？  
新年度をスムーズに迎えるためにも、今年度に学習したことをしっかりと定着させたいと考えています。そのために、春休みをどのように過ごすかが大事だと考えます。学校と同じように、毎日同じ時間帯に同じペースで学習する習慣をつけ、新年度にスムーズに学習に取り組みできるよう段階に合わせて負担にならないような課題を学年ごとにしたいと思っております。ご理解と協力のほど、よろしくお願いいたします。

#### 低学年 音読+漢字練習+プリント

- 音読（学習カードに毎日チェックをお願いします）
- 漢字練習
- 国語・算数プリント

【取り組み方】

- ※ 毎日少しずつ計画的に取り組みます。
- ※ 保護者の方が〇をつけて、間違ったところはやり直します。

#### 中学年 漢字ノート+自主学習ノート

- 漢字ノート
- 自主学習ノート

例：教科書の問題、計算ドリルなど

【取り組み方】

- ※ 毎日少しずつ計画的に取り組みます。
- ※ 自分で〇をつけて、間違ったところはやり直します。

#### 高学年 プリント20枚+自主学習ノート

- 国語・算数・社会・理科プリント
- 自主学習ノート

例：単元テスト、定着確認シートなど

【取り組み方】

- ※ 毎日少しずつ計画的に取り組みます。
- ※ 自分で〇をつけて、間違ったところはやり直します。

### かてい生活・学習カード（低学年用）あさひ田小学校 2年

2019ねんど



名前: \_\_\_\_\_

めあて

自己マネジメント力を付けるため、全学年家庭学習をスタートする時間をめあててに書きます。

勉強を始める時刻

<はんせい> ●◎…よくできた ○…まあまあできた △…もうすぐし

日 曜	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況
例	○	○	○	こんなことがあったよ	◎	△	○	30分	家庭の定時	サインの印	
8月											
9月											
10月											
11月											
12月											
13月											
14日											
15月											

休みの日は、全校で家庭学習に取り組みたいと思います。

### 家庭生活&学習カード（中学年用）

<はんせい> ●◎…よくできた ○…まあまあできた △…もうすぐし

日 曜	漢字	自学	ドリル	プリント	その他	学習時間	サイン
例	○	○	◎	◎	2P	◎	◎

### 家庭生活&学習カード（高学年用）

日 曜	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況	家庭生活・学習カードの活用状況
例	○	○							

子どもたちに学習習慣を身に付けさせる上では、授業参観時の全体会や懇談会等で「家庭学習スタンダード」の活用や「町四つ葉のクローバープラン」についての説明等、家庭への呼びかけを意識的・計画的に実施している。

授業参観への保護者の出席率が100%ということもあり、保護者への啓蒙も段階的に行うことができる利点がある。

自己実現に向かう小学校	学年	学習時間	チェックポイント
家庭学習の習慣・仕方を身に付ける小学校	三年	120~180分 受験に向けて自己マネジメント	①進路の実現をめざして! ②家庭学習の習慣化を図り! ③家の人に取組を宣言! ④学習時間・内容は自分でマネジメント! ⑤疑問点は先生に質問して必ず解決!
	一・二年	80~120分 予習・復習 自主学習	
家庭学習の習慣・仕方を身に付ける小学校	六年	70分以上 計画を立てて 家庭学習	①テレビを自分で消します! ※学習に集中する
	五年	60分以上 計画を立てて 家庭学習	②はじめる時刻を決めます! ※決めたことはやり抜く
	四年	50分以上 自ら進んで 家庭学習	③宿題のほかにも自主学習にも取り組みます! ※興味や関心を伸ばす
	三年	40分以上 自ら進んで 家庭学習	④音読に取り組みます! ※表現する力を高める
	二年	30分以上 毎日学習 習慣づくり	⑤家庭学習が終わったら明日の準備をします! ※規則正しい生活習慣を身につける
一年	20分以上 毎日学習 習慣づくり		

<お家の方> できたら ほめてあげてください

「下郷町四つ葉のクローバープラン」 学びの習慣 下郷学習プラン<家庭学習の9年間>

# 授業と家庭学習の連動により学ぶ意欲を高める指導

相馬市立大野小学校

- 授業の中で自主学習につながる課題を投げかけたり、家庭学習につながる自主学習の時間を確保したりするなど、授業と家庭学習を連動させることにより、児童の学習意欲が向上している。
- 学校と家庭が、児童の家庭学習を持続的に支援していくために、家庭の負担を少なくする工夫をしている。また、学校から児童の取組を積極的に発信することにより、家庭学習をとおして児童が家庭で褒めてもらう機会をつくり出している。



## 学習意欲を高める指導



### 家庭学習につながる場の設定

授業の中で家庭学習につながる課題の提示や、授業の終末で、学習内容の活用型の自主学習に取り組ませ、残りを家庭学習で取り組ませるなど、教師が授業と家庭学習の連動を意識して取り組んでいる。

自主学習で取り組んだことが授業と関連するため、児童は「自主学習をやったよかった」という達成感を味わうことができる。



### 帰宅後の生活のルーティン化

放課後の児童のタイムスケジュールを時間割に示したり、プリントでお知らせしたりするなど、家に帰ってから取り組むことのルーティン化を図っている。保護者は、児童のタイムスケジュールを把握しているため、家庭学習にコメントをしたり、自主学習の問題を保護者が考えたりするなど、内容面でも保護者の協力があり、児童の学習意欲の向上につながっている。宿題の未提出も減っている。



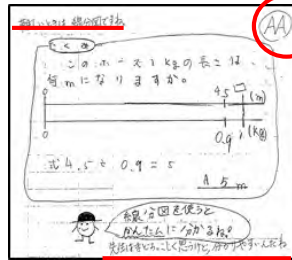
## 家庭学習の質を高める指導



### 指導と評価の一体化

- AAA・・・量・質ともに素晴らしい。自分の考えが分かりやすく表現できています。
- AA・・・すばらしい。これが精進ば、授業が面白いはず。
- A・・・合格点。でも、もう少し工夫すれば、ノートが分かりやすくなるはず。
- B・・・とりあえずやった。という中身です。レベルアップを目指そう。
- C・・・その日のうちにやり直し。これでは6年生になれない！

### 【自主学習ノートの評価の視点】



自主学習ノートに評価とともにコメントを記入して児童へフィードバックしている。取組内容やノートの使い方等具体的に指導している。



### 新聞を活用した週末作文

高学年では、隔週の週末に、思考力・判断力・表現力を高めるために、新聞を活用した週末作文に取り組んでいる。活字に触れる機会が増えるとともに、書いた作文を保護者や教師がコメントを入れて推敲することで、文章表現力の向上につながっている。

## 《 家庭学習を持続的に支援するための工夫 》

日	① 意欲した内容・頁 (評価)	② 時間	③ 内容	④ 家人	氏名
1	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
2	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
3	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
4	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
5	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
6	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
7	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
8	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
9	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
10	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
11	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
12	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
13	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
14	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
15	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
16	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
17	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
18	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
19	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本
20	国語の練習 ( )	10	算数 算術 自主学習		山本

【自主学習ノート表紙裏】



【自主学習の内容】

学校からの連絡、家庭学習の計画、実際に取り組んだ時間を書く。保護者は、自主学習ノートを見るだけで、宿題や明日の予定等を把握することができる。

提出物を簡略化するために、連絡帳と音読、日記をひとつにまとめ、家庭の負担軽減を図っている。家庭では、児童の家庭学習を一目で把握することができるため、学校と家庭が同じ目線で児童の家庭学習を支援していくことができる。

使い終わった自主学習ノートは、学級の一角に累積保存し、授業参観等の機会を利用して様々な方に見てもらう機会を設定している。加えて、児童の取組を積極的に発信することで、児童は、学校と家庭とで称賛される。児童の学習意欲が向上するとともに、保護者の支援も充実していく。

# 家庭学習についての研修の充実を図り児童の自主性を高める指導

いわき市立高野小学校

- 「家庭学習スタンダード」自校化推進全体計画を策定し、学校としての方針を明確にするとともに、教員研修や保護者への説明会をとおして、学校と保護者が一体となって家庭学習の推進に努めている。
- 家庭学習の計画の場の確保や積極的なまる付け、児童の取組を称賛し励ますことなど、児童の家庭学習への意欲を高める指導体制が構築されている。

## 家庭学習についての研修の充実

### Plan

#### 「家庭学習スタンダード」自校化推進全体計画の策定

学校としての役割を明確にし、家庭と連携しながら、子ども自身が自ら学ぶ意欲を取り戻すことと目指していきための基礎的汎用的能力を養ふための個人差に応じた指導の場を確保している。

学校としての家庭学習の目標や方針の明確化  
 家庭学習の環境づくり  
 家庭学習の計画化と自己管理の取組  
 学校資源の積極的な利用と連携推進  
 望ましい生活習慣への改善を目指した生活の場  
 授業と家庭学習をつなぐ自主学習のための取組

### D.

#### 家庭学習の計画の場の確保

しゅくだいカード  
 名まえ ( )  
 ☆ていねいに しゅくだい がんばろうか

日付	しゅくだい	おまけ
6・10 (月)	音楽(スズー)の曲 かん字(書き)の練習	自由記述
6・11 (火)	音楽(スズー)の曲 かん字(書き)の練習	自由記述
6・12 (水)	音楽(スズー)の曲 かん字(書き)の練習	自由記述
6・13 (木)	音楽(スズー)の曲 かん字(書き)の練習	自由記述
6・14 (金)	音楽(スズー)の曲 かん字(書き)の練習	自由記述

自主学習カレンダー 6月

日	自主学習メニュー	自由記述
4	かん字(書き)の練習	自由記述
5	かん字(書き)の練習	自由記述
6	かん字(書き)の練習	自由記述
7	かん字(書き)の練習	自由記述
8	かん字(書き)の練習	自由記述
11	かん字(書き)の練習	自由記述
12	かん字(書き)の練習	自由記述
13	かん字(書き)の練習	自由記述
14	かん字(書き)の練習	自由記述
15	かん字(書き)の練習	自由記述
18	かん字(書き)の練習	自由記述
19	かん字(書き)の練習	自由記述
20	かん字(書き)の練習	自由記述
21	かん字(書き)の練習	自由記述
22	かん字(書き)の練習	自由記述
25	かん字(書き)の練習	自由記述
26	かん字(書き)の練習	自由記述
27	かん字(書き)の練習	自由記述
28	かん字(書き)の練習	自由記述
29	かん字(書き)の練習	自由記述

併設する中学校と連携し、キャリア教育との関連を図りながら、目指す児童の姿を明確にした全体計画を作成している。

この全体計画を基に、保護者への説明会、教員研修を行い、児童の「自己マネジメント力」の育成に努めている。

各学年の実態に応じ、「自主学習メニュー表」、「自主学習カレンダー」「しゅくだいカード」、「家庭学習の記録」を活用し、中学校での「ひとりだち」を見据え、家庭学習の計画、実践、反省に継続して取り組んでいる。

## 児童の自主性を高める組織的な指導

### D. 校内研修の充実

現職教育 実技研修会  
 令和元年6月14日(金)

家庭学習まる付けOJT

運動会が終わった、授業や家庭学習も落ち着いてきて季節になりました。この機会に自主学習ノートや学習ノートのまる付けについて研修を行い、先生方のスキルアップをめざしたいと思います。

以前、秋田の小学校の先生と意見交換をした時、秋田のたくさんの小学校では、校内研修を生かして、まる付けの研修を行っているとのことがありました。その時、指導助言をした方は、そういう取組が秋田の全学年学習状況調査の高さの原因になっているのではないかと話をしていました。

まる付けは、教師個人のスキルでかなり左右されます。また、その先生の忙しさにも左右されます。子どもたちに出している意欲の量にも左右されます。しかし、それぞれの先生方のまる付けの仕方や考え方の違いを交換しただけでも参考になると思っています。

校内組織の中に研修主任とは別に「学びのスタンダード推進教師」を置き、家庭学習スタンダードの自校化を進めるとともに、自主学習ノートの展示や参考資料の掲示等をとおして児童への意欲付けを図っている。また、現職教育を活用し、「家庭学習のまる付け」についての実技研修会を行い、児童への称賛・励まし方を学び、実践している。

学校の取組として

- 共通理解を定めて掲げます。  
 (学年に応じた「家庭学習の学習力」宿題の内容や量(課題))
- 授業と家庭学習をつなげます。  
 (学習・課題を授業内に生かした授業)
- 内容・方法を厳選します。  
 (学習内容・方法・時間・ノートの使い方)  
 (読む・考え・書く)を中心とした生活型の取組)
- 協力・連携体制を整えます。  
 (小中学校間での連携)

(家庭学習についての子どもと保護者からの相談の機会)

現職の研修もあわせて、少しずつ進めてさせていただきます。先生方から様々なアイデアをいただき、よりよいスタンダードを作り上げていきたいと思います。  
 まずは、この学習内容から作成します。詳しくは別紙をご覧ください。

しゅくだいカード  
 名まえ ( )  
 ☆ていねいに しゅくだい がんばろうか

日付	しゅくだい	おまけ
6・10 (月)	かん字(書き)の練習 音楽(スズー)の曲	自由記述
6・11 (火)	かん字(書き)の練習 音楽(スズー)の曲	自由記述
6・12 (水)	かん字(書き)の練習 音楽(スズー)の曲	自由記述
6・13 (木)	かん字(書き)の練習 音楽(スズー)の曲	自由記述
6・14 (金)	かん字(書き)の練習 音楽(スズー)の曲	自由記述

- 学校独自の「家庭学習スタンダード」を作成し、家庭学習の内容・方法の指導を具体的に行うとともに、学校・保護者の共通認識の下で生徒たちの自己マネジメント力育成に当たっている。
- 中学校区で情報を共有しながら、同一歩調でノートづくりの指導に当たっている。

## 🔑 家庭学習の内容・方法の指導

### Plan 「渡利中学校家庭学習スタンダード」の作成、共通理解

渡利中学校では、県教委発行の「家庭学習スタンダード」及び「家庭学習のスタンダード（福島市版）」を基に、家庭学習の手引き「渡利中学校家庭学習スタンダード」を作成している。

このスタンダードは、生徒用のみならず、保護者用、教師用も準備されており、全教員、保護者、中学校区で確認し合い、組織的に家庭学習の指導を行う中で、生徒が自らの学びをマネジメントする資質・能力を育成することを目指している。

6月には生徒用スタンダードを用いて学習集会を実施し、内容の徹底を図った。

#### 【スタンダードの内容】

- ・ 家庭学習の意義、内容
- ・ 具体的な自主学習ノートの活用法
- ・ 家庭学習の取り組みの例 など

## Check 家庭学習の「振り返り」

学級活動の時間に、お互いの自主学習ノートのよさや改善点等について話し合うなど、各自の家庭学習の状況を「振り返り」機会を設定している。

よさや改善点等は付箋紙に記入しながら交流していくが、ノートづくりについて、教科担任がコメントを寄せるなど、教科の学習（予習・復習等）を行う上で、教科の専門的な視点から具体的なアドバイスを送ることができるため、子どもたちにとって大変参考になっている。

また、自主学習ノートの紹介も行っており、全校生が目を通すことができるよう、昇降口にノートのコピーを掲示し、他学年のノートづくりに触れることができるようにしている。

特に、1年生にとっては、2・3年生のノートづくりがよい刺激となっており、その後のノートづくりに反映されるケースも見られる。



**渡利中学校家庭学習スタンダード**

**自分**

自分自身の (Research)  
自己学習の計画 (Plan)  
自己学習の振り返り (Check)  
自己学習の改善 (Action)

**家庭**

学習意欲を高める  
学習環境を整える

**学校**

学習意欲を高める  
学習環境を整える

**家庭学習を充実させて  
自己マネジメント力  
UP!**

福島市立渡利中学校

**家庭学習を充実させ、  
学力をもっとのばそう!**

渡利中学校

**1 なぜ家庭学習が必要なの？**

中学校での学習は、社会人として自立するための基礎となる「学力」を育てます。学校では基礎学力を身に付け、高めることを重視して授業を行っています。さらに、皆さんが家庭学習に取り組むことで、その効果を明確に高めることができます。

「学力」とは、「もっと調べてみたい」「もし一だしたら、どうなるのだろう」「なぜなのだろう」と、自分で意欲や疑問をもちながら、学習の知識を生かし、発見をもって考えたが、整理し学習の力を高めることです。

家庭学習を毎日続けることで、「分かった」「できた」という体験が、学習が楽しくなります。そして、学習意欲が身につく学力の向上が期待できます。また、集中力やしっかりとした考え方が身につく、重要なことに出会って多く気づき、積極的にチャレンジしようとする力が育ちます。

～学力をつけるには一定の制度～  
 ※おもしろいことが増えます。学習が楽しくなる！  
 ※将来の選択（希望する高校や大学などの進学・やりたい仕事など）が広がる！  
 ※自分の考えが広がり、深まり、向上心をもって生きる（学び続ける）態度が身につく！

生徒のみならず一人ひとりが、中学校の学習内容をしっかりと身につけ、夢や希望の実現を目指しましょう！

## 🔑 小中接続によるノート指導

### D。 「めあて」と「まとめ」の記入

渡利中学校区では、小学校でも家庭学習に力を入れており、特にノート指導を丁寧に行っている。

子どもたちは、小学校段階から、自主学習ノートに、その日の学習の「めあて」を記入し、学習をスタートさせる。そして、学習の最後に、学習の振り返りともなる「まとめ」を記入する習慣が身に付いている。

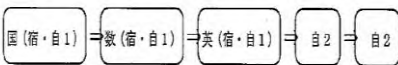
中学校においても、小学校でのノート指導を受け、同様の取組を継続している。

小中学校における協議会等においては、家庭学習に関する情報交換等も行っており、それぞれの学校（小学校2校、中学校1校）の児童生徒の自主学習ノートを持ち寄って見合う機会を設けるなど、小中の接続を意識した取組を行っている。

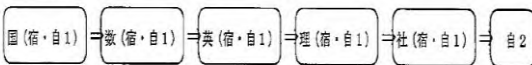
## 3 家庭学習の取り組みの例

[1・2年生] ※時間はあくまで目安です。 宿：宿題、自：自主学習

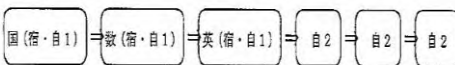
**パターンA** 20分×5セット=100分



**パターンB** 20分×6セット=120分



**パターンC** 20分×6セット=120分





# スケジュール手帳の有効活用による自己マネジメント力の育成

本宮市立白沢中学校

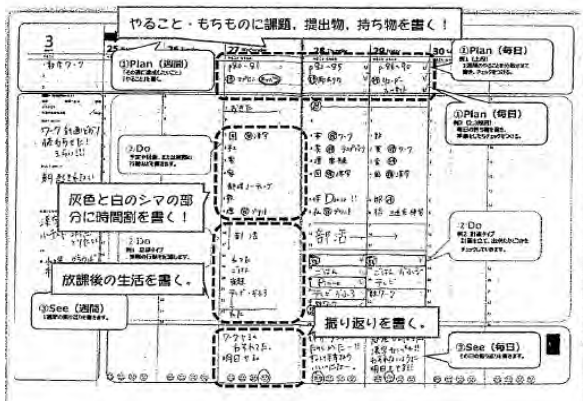
- スケジュール手帳を活用することをおして、授業と家庭学習をつなぎ、学習習慣を確立させる取組を行っている。また、手帳活用の有用性を生徒や保護者に実感させながら、主体性を高めるための力を鍛える手段として手帳の活用を推し進めている。
- 県作成の「家庭での学習・生活チェックシート」を自校化し、「振り返り」を重視している。

## スケジュール手帳の活用による学習習慣サイクルの確立



### スケジュール手帳の活用

白沢中学校では、生徒たちにセルフマネジメント力（自己マネジメント力）を育成するため、昨年度より市販のスケジュール手帳を採用し、学校ではもちろんのこと、自宅でも活用することとしている。



### 《基本的な使い方》

☆ 朝の学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く。【まずは開く！】</li> <li>・ 起床時間をメモする。</li> <li>・ 1日の予定や計画を確認する。</li> <li>・ 1日の予定や計画を書く。</li> </ul>
☆ 授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すく出せるようにしておく。</li> <li>・ 移動教室に持っていく。</li> <li>・ やること、その週に達成したいことなどをメモする。</li> </ul>
☆ 帰りの学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く。【まずは開く！】</li> <li>・ 計画が実行できたかをチェックする。</li> <li>・ 翌日の予定、計画、持ち物を書き込む。</li> <li>・ 1日の振り返りを書く。</li> </ul>
☆ 自宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く【まずは開く！】</li> <li>・ 計画が実行できたかをチェックする。</li> <li>・ 1日の実際の行動を記録する。【とにかく記録！】</li> <li>・ 1日の振り返りを書く。</li> <li>・ 頭マークに○をつける。</li> <li>・ 翌日の予定、持ち物を確認する。【チェックも！】</li> <li>・ 就寝時間をメモする。</li> </ul>

手帳は、基本的に生徒が一日中持ち歩いており、授業の際にも、宿題や提出物、持参物等をその場でメモするように指導している。（授業と家庭学習をつなぐという意識）  
先生方は、週に1回程度タイミングを見計らって活用状況をチェックし、効果的な活用について助言を行っている。

### 【白沢中における手帳活用における主な効果】

- 主体性・能動性が大きく向上し、自ら学習する姿勢が身に付いている。
- 学習習慣が身に付き、生徒の学習時間が大きく増えている。
- 時間を大切にしようとする意識が大きく向上している。
- 先のことを見通して行動しようとする意識が大きく向上し、計画力が高まっている。
- 振り返りの繰り返しによって多くの生徒が成長実感を抱き、自己肯定感が高まっている。

### 《その他、手帳の活用に関しての取組》

- ① オリエンテーションの実施
  - ・ 全校集会時に研修主任から説明
- ② 学習委員会による「校内手帳コンテスト」の実施
  - ・ 「ステキな表紙の部」
  - ・ 「ちょっといいページの部」
- ③ 手帳活用についての保護者への説明
  - ・ PTA全体会、学校通信等
- ④ 年度末（3月）からの活用
  - ・ 春休みの有効活用を視野に

## 「家庭での学習・生活チェックシート」の自校化

評価項目	自己評価					○自分がよくできているところ ●改善が必要どころ
	5	4	3	2	1	
4 学習内容	① 苦手な教科も学習している。	1				
	② 難しい問題や課題にも、がんばって取り組んでいる。	2				
	③ 授業の予習や復習をしたり、テストの見直しをしたりしている。	3				
	④ 「読む」「まとめる」「解く」など、多様な学習方法の中から自分の課題に合った方法を選んで、取り組んでいる。	1				
	⑤ いろいろな種類の本を読むようにしている。	2				
	⑥ 自主学習に、積極的に取り組んでいる。	3				
6 学習方法	① 自主学習に、積極的に取り組んでいる。	1				
	② テストや定期考査の前には、計画を立てて学習に取り組んでいる。	2				
	③ ページ数や問題の数、時間、点数など、やりとげる目標を決めて学習している。	1				
	④ 見直しや答え合わせ、間違え直しなどをし、学習の振り返りを行っている。	2				
	⑤ 分からないことはそのまませず、調べたり聞いたりしている。	3				
	⑥ テスト計画表やフォーサイトを活用して、見直しをもって学習に取り組んでいる。	1				
6 授業	① 「今日の授業で何を学習するか」を明確にして、授業に臨んでいる。	1				
	② 話し合い活動に積極的に参加し、自分の意見をきくと周りに伝えることができる。	2				
	③ 友だちの思いや考えを聞いて、自分の考えを深めることができる。	1				
	④ 授業の中で学習したことを振り返るようにしている。	2				
	⑤ 授業の中で出てきた疑問について、後から調べたり、誰かに聞いたりして、解決するようにしている。	1				
	⑥	2				

県で作成している「家庭での学習・生活チェックシート」を自校化し、「振り返り」の充実に役立っている。  
自校化にあたっては、スケジュール手帳の活用、授業との関連等を重視し、項目を追加して活用している。

# PU（パワーアップ）ノートを活用した自己マネジメント力の育成

玉川村立泉中学校

- 自主学習を「PU（パワーアップ）ノート」として授業の復習や自分の課題の克服のために活用している。担任や学年主任が毎日確認し、コメントをつけて称賛することで生徒の自己マネジメント力を育成している。
- 委員会活動と連携し、学年をまたいで見せ合って生徒同士がコメントしたり、内容がよいものを掲示して意欲を高めたりするなど、生徒の自主性を重んじた取組をしている。



## PUノートの活用による学習習慣の確立

### 【生徒のPUノート】



### PUノートの活用

泉中学校では、毎日の授業の復習や自分の課題の克服のために「PUノート」で家庭学習を進めている。

PUノートは担任または学年主任が毎日確認し、できる限りコメントをつけている。

定期テスト前には、教科担任からも協力を得て、取組の内容や方法についてのアドバイスをもらっている。複数の目で、教科の専門的な視点で生徒たちの学力向上に向けて支援している。



### PUノートの相互評価（見せ合い）

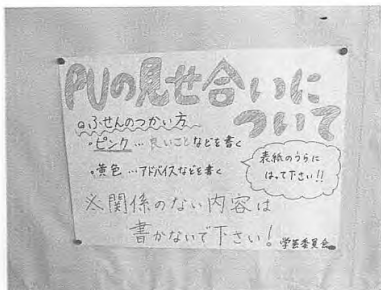
委員会活動と連携し、生徒も運営に関わりながら、学年の枠を超えてPUノートの見せ合いの場を確保している。アドバイスや感想などを記入した付箋紙を生徒同士で交換し合い、家庭学習の改善につなげている。

短学活時にもPUノートの活用の仕方について指導している。

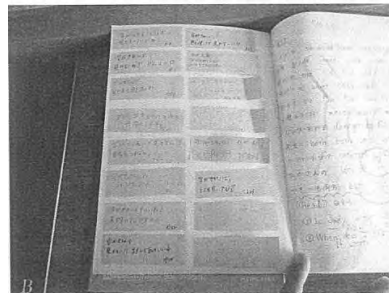
#### 第1回 PUの相互評価計画（PUの見せ合い）について

学芸委員会

- ねらい
  - 生徒間の自主学習ノートの見せ合いによる、励ましや助言などの相互評価を通して、よりよい家庭学習の習慣を身に付けさせる。
  - 実力テストに向けて、家庭学習の内容の充実を図ると共に、学習方法の工夫・改善のよい機会とする。
- 期間
  - 5月13日（月）、14日（火）、15日（水）、16日（木）、17日（金）の5日間
- 方法
  - 学年の枠を超え、PUノートを相互に評価しあう
  - 朝の短学活前から掃除終了後まで、他の学級の教室後ろのロッカー上に展示し、各自で休み時間に見る。
  - アドバイスや感想などのコメントを、付箋紙に書いて、見た生徒のノートに貼り付ける。
    - ※ 付箋には必ず記入者の氏名を書く。
  - 学芸委員会の生徒が提出されたノートを確認し、名簿にチェックする。
  - 付箋には、PUノートの改善につながるアドバイスを記入する。



【学芸委員会の広報】



【付箋紙が貼られたPUノート】



【PUノートを見合う生徒】

### 《その他、家庭学習に関しての取組》

- 授業と家庭学習とのつながり
  - ・ 授業の中で、家庭学習において取り組んでほしい内容を提示。ショートテスト等で定着の結果を確認し、家庭学習の量や方法について改善を図っている。
  - ・ 授業の中に「振り返り」の時間を設け、まとめ方についての指導を行っている。
- 自己マネジメント力の育成
  - ・ 自分ログ（生活ノート）を活用し、自分の生活スタイルを振り返る場を確保している。
  - ・ 定期テストの前には、学習計画の立案、実施状況のチェックについて、本人だけでなく、学校や家庭からの協力を得て実施している。

# 生徒の自立を促す学習支援と生徒の頑張りに寄り添う指導

三春町立岩江中学校

- 生徒の「自立」をテーマに、自主的に家庭学習に取り組めるよう、教科相談を実施したり、教科教室のメリットを生かし、家庭学習に役立つ教科掲示を準備したりしている。
- ノートチェックをする際、生徒の努力を認め、励ますことを基本とするなど、生徒の頑張りに寄り添う指導体制が構築されている。

## 生徒の自立を促すための支援

### Plan 「家庭学習掲示板」の活用

学級	101	102	201	202	301	302
国語						
数学			予習	なし		
英語	なし	なし	なし	なし	なし	なし
理科	レポート	なし	なし	なし	なし	なし

各学級の宿題が校舎1階のホールに掲示（見える可）されており、生徒たちがその日の宿題を把握できるようにしている。また、教師も他教科の宿題を把握でき、生徒の負担を考慮して宿題量の調整等を行っている。

### Plan 「家庭学習の計画」

家庭学習の計画 実施するものに○をつけよう。 6月

日(曜)	宿題	自主学习	時間	担当	確認
1日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
2日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
3日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
4日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
5日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
6日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印
7日(○)	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )	20:00	○	印

「家庭学習の手引き」と一体型の計画表。帰りの短学活時に学習の計画を立て、担任の先生のチェックを受けて帰る。帰宅後はやるべきことが明確になっているので迷わず学習に取り組むことができる。

また、保護者の協力も得ており、保護者が子どもの学習状況を確認している。（保護者の確認欄への押印等）

### Research Plan 学習相談の充実（教科相談）

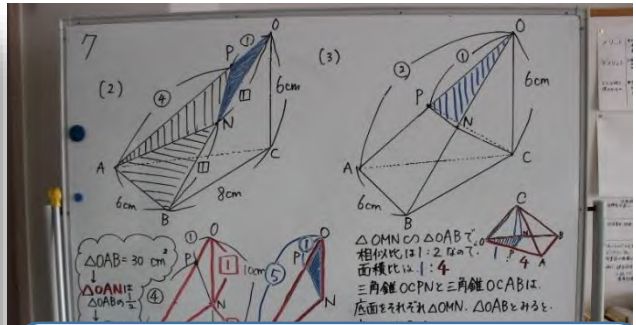
1学期にアンケートをとり、希望する教科、希望する先生に教科の学習に関する相談ができる機会を設けている。（昼休みや放課後の時間を利用）

ほとんどの生徒が「勉強の仕方」について相談し、その後の家庭学習に役立っている。

また、この教科相談が先生方に気軽に質問できるようきっかけづくりとなっており、学習に対する主体的な態度を育成する上でもよい機会となっている。



### 教科教室型を生かした特色ある取組



岩江中学校では、「教科教室型」の授業を展開しており、各教室において、教科の学習に関する掲示物等が充実している。この掲示物等をおして、学習を振り返ったり、家庭学習の参考にしたたりする生徒が見られるなど、生徒の学習の深まりや自己マネジメント力の育成に役立っている。

### 生徒一人一人に寄り添う教師集団



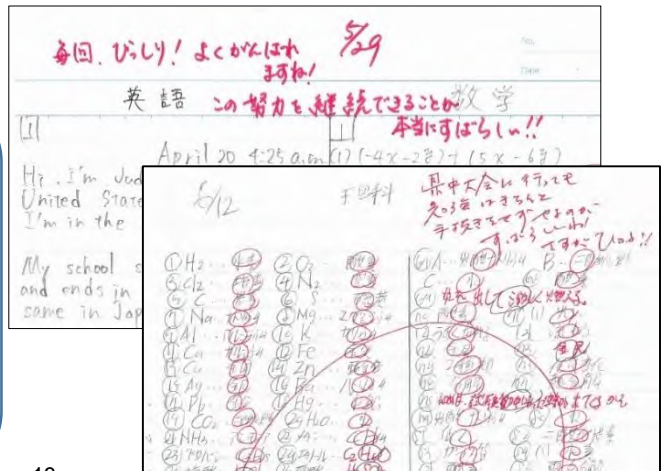
### 子どもの努力を認め、励ますチェック

学級担任だけでなく、全職員で「家庭学習の実践のポイント」について共通理解を図っている。その中で、子どもの努力を認め、励ますチェックの在り方について共通理解・共通実践をしていることが素晴らしい。

(5) 提出させた後のことも考える。

→ 子どもの努力を認め、励ますようなチェックの仕方の工夫（可能な範囲で）

- ・ 採点が必要なものは、全員の提出物の採点
- ・ 間違っているところのチェック・添削等
- ・ 全員の宿題に目を通し、ほめる言葉・励ます言葉等、コメントの記入
- ・ よくできたところの賞賛、間違ったところは、分かるまで指導
- ・ よかった内容、特徴的なこと、優れた発想などについての紹介
- ・ 間違いが多かった問題を授業で取り上げるなど、宿題を「次の授業に生かす」こと



# 効率的な学習計画により家庭学習の質を高める指導

白河市立表郷中学校

- 家庭学習に取り組んだ実際の時間と自己評価を基に、2週間分の学習計画表をその都度修正する場を設定することで、生徒が効率的な学習計画を立てる能力を高めることにつながっている。
- 自主学習ノート評価会や自主学習ノートコーナーでの掲示により、自己の家庭学習を振り返る視点を学ぶことができるため家庭学習の質が高まっている。

## 自己マネジメント力の育成



### アップデートし続ける学習計画表

月日	曜	学習予定時間	実際の時間	教科	内容	教科	内容	担任印	自己評価
5/8	水	18:00~20:00	14:10~20:00	英語	過去形用法の	英語	7-7 過去形		A B C
5/9	木	18:00~20:00	21:00~21:30	数学	式の計算(1)	数学	7-10 図1まで		A B C
5/10	金	18:00~20:00	18:00~	理科	物質の成り立ち	理科	7-7 物質の成り立ち		A B C
5/11	土	18:00~20:00	18:00~	社会	各県の特産品	社会	7-7 社会		A B C
5/12	日	18:00~20:00	18:30~19:30	英語	3-10 現代文	英語	7-7 英語		A B C
5/13	月	20:00~21:00	21:00~21:30	英語	過去形用法の	英語	過去形用法の		A B C
5/14	火	18:00~20:00	21:30~21:50	数学	7-10 図1まで	数学	7-10 図1まで		A B C
5/15	水	18:00~20:00	18:00~	英語	未来形用法の	英語	7-7 未来形		A B C
5/16	木	18:00~20:00	21:30~21:50	社会	3-10 現代文	社会	7-7 社会		A B C
5/17	金	18:00~20:00	18:00~	数学	7-10 図1まで	数学	7-10 図1まで		A B C
5/18	土	18:00~20:00	18:00~	国語	7-7 国語	国語	7-7 国語		A B C

## 家庭学習の質を高める指導



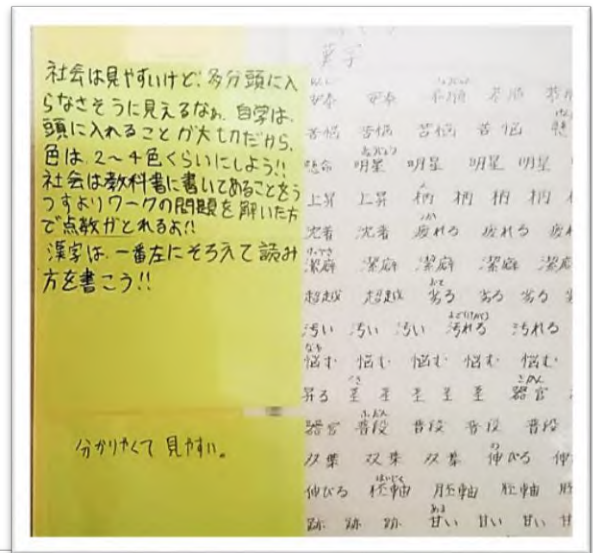
### 全生徒による自主学習ノート評価会

自主学習ノートを評価し合い、取り組み方やノートの使い方の改善を図ることを目的に実施している。3~4人のグループを作り、割り振られたノートを評価していく。ノートを見て感じたことや、アドバイスを付箋に書く。

<評価対象>

- ・3年生は、1年生のノート进行评估する。
  - ・2年生は、3年生のノート进行评估する。
  - ・1年生は、2年生のノート进行评估する。
- 他の人のノート进行评估することをとおして、自己の自主学習の取組を見直す視点を学ぶことができる。

毎日、一定時間、決まった場所で家庭学習を行う習慣を身に付けさせることを目的に、2週間分の学習計画表を作成し、計画を立てさせている。学習計画表には、毎日帰りの短学活の時間に「学習予定時間」「取り組む教科」を記入させ、家庭学習終了後に「実際に取り組んだ時間」と「自己評価」を記入させている。振り返りを基に計画を修正していくことで、自分に合った学習方法を見つけることができ、無理のない効率的な学習計画を立てることにつながっている。



### 自主学習ノートの掲示



学年ごとに一人一人の自主学習ノートを掲示している。同学年の自主学習ノートを見ることができるだけでなく、異学年のノートを見ることができるため、自己の取組を見直すきっかけとなっている。

(写真) 上級生の経験を踏まえたアドバイスは、具体的であり、自主学習の質を高めることにつながっている。より効果的かつ効率的な家庭学習に取り組むためのきっかけとなっている。生徒からの「自主学習で何をすればよいか分からない」という声がなくなってきた。

# 短期間のR-PDCAサイクルで自己マネジメント力を高める指導

会津美里町立高田中学校

- R-PDCAサイクルを意識した家庭学習の取組を、定期テスト対策にも利用し、明確な目的をもたせて家庭学習に取り組ませている。短期間のR-PDCAサイクルを繰り返し、家庭学習の質を高めている。
- 自主学習ノートの累積や自主学習ノート展示会などで生徒の努力を可視化し、価値付けることで、生徒の自主性を育成し、継続して家庭学習に取り組むことができるようにしている。

## 短期間のR-PDCAサイクルの繰り返し

**Research Plan Do Check Action**

**第2学期期末テスト 学習計画表**

	1	2	3	4
25日(月)	音楽・保健	英語	美術	数学
26日(火)	技術・家庭	国語	理科	社会

☆学習の計画とあしあと  
☆充実度→A:計画以上にできた B:計画通りにできた C:計画通りにいかなかった

日	曜	行事	計画	実施	習得	実得	達成	チェック
11	月	三者面談-19日						



定期テストに向けた勉強が、1回限りの単発とならないように、「R-PDCAサイクル」を定期テストの勉強に利用し、家庭学習の質を高めている。前回の反省点を踏まえ、定期テスト対策を計画させている。テストごとに3つの共通目標で振り返らせることで「R-PDCAサイクル」を生徒が意識して家庭学習に取り組むことができるようにしている。

## 《自己評価表》

<p>共通目標① 計画を立てて、それに沿って家庭学習をする。 (例えば・・・毎日の分以上やる)</p>	<p>1学期期末 20% 50% 70% 90%</p> <p>2学期中間</p> <p>2学期期末</p> <p>【気づき】</p>
<p>共通目標② 課題を提出日に遅れずに出す。 (例えば・・・ワークを余裕時間をめやす)</p>	<p>1学期期末 20% 50% 70% 90%</p> <p>2学期中間</p> <p>2学期期末</p> <p>【気づき】</p>
<p>共通目標③ テレビ・ゲーム・スマホの誘惑に負けずに学習する。 (例えば・・・テスト勉強期間中は控える)</p>	<p>1学期期末 20% 50% 70% 90%</p> <p>2学期中間</p> <p>2学期期末</p> <p>【気づき】</p>

定期テスト終了後には、定期テストに向けた家庭学習の取組を振り返り自己評価する。全ての生徒が、共通目標で振り返るようにしている。学習計画表と自己評価表は、ポートフォリオ形式で累積することにより、家庭学習の質の向上を図っている。

### 〔共通目標〕

- ① 計画を立てて、それに沿って家庭学習をする。
- ② 課題を提出日に遅れずに出す。
- ③ テレビ・ゲーム・スマホの誘惑に負けずに学習する。

## 自主性を高め継続させる取組

### 《進捗別ステッカー》

「自主学習ノート」の表紙に、使い終わった自主学習ノートの冊数によって色分けしたステッカーを貼り、家庭学習の取組を可視化し、達成感をもたせて継続して学習に取り組む意欲を高めている。

2冊目…白、5冊目…赤、8冊目…青、11冊目…緑、15冊目…銅、19冊目…銀、20冊目…金

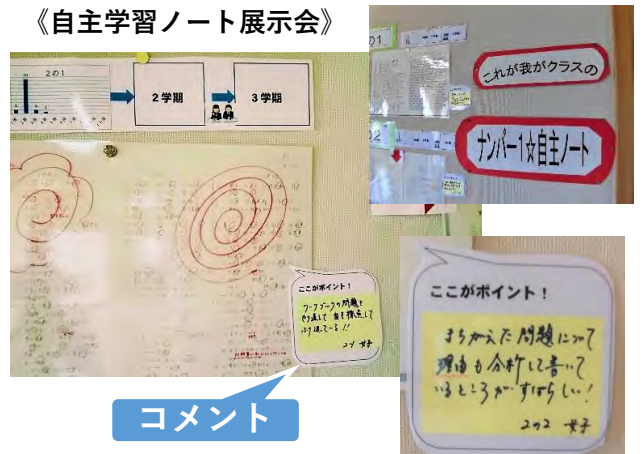
使い終わった自主学習ノートはクラス全体の冊数を学期ごとにグラフ化し冊数の伸びを可視化することで意欲をもたせる。(写真下)



### 《100日の努力達成賞》

100日続けることを目標とし、生徒に「ここまで頑張ってみよう！」と、ゴールを意識させている。学期ごとに「100の努力（始業式4/8~7/17で100日間）」を設定し努力達成賞を与えている。

### 《自主学習ノート展示会》



### コメント

他の人のノート、他学年のノートを参考にして、自主学習の質の向上に生かすことを目的に「自主学習ノート展示会」を実施している。各学級から男女それぞれに、見本となるような「1ページ」を選抜し廊下に掲示する。生徒が参考にすることができるように、選抜理由も掲示している。

# 「自己マネジメント力」の具体化と学校と家庭学習をつなぐ取組

南会津町立荒海中学校

- 生徒たちに「自己マネジメント力」とは何か具体化して提示することで、理解を伴った実践につながる工夫をしている。
- 月2回の「放課後学習会」をとおして、学校と家庭学習をつなぐ取組を展開している。

## 自己マネジメント力育成のために

### Research Plan 新入生オリエンテーションでの学び方指導

新入生オリエンテーションにおいて、「家庭学習の意義とねらい」、「家庭学習で身につけてほしい力」、「家庭学習の時間のとり方と学習の目安」等について具体的に指導を行っている。

特に、「自己マネジメント力」について、以下のように具体化し、生徒たちが理解しやすいように工夫して提示している。

家庭学習を実践していくときにみなさんに身につけてほしい力として、「自己マネジメント力」があります。  
「自己マネジメント力」とは、自分で学習や生活を改善する力のことです。

- ① Research (リサーチ: 自分を知る)
- ② Plan (プラン: 計画する)
- ③ Do (ドゥ: 自ら学習する)
- ④ Check (チェック: 確かめる)
- ⑤ Action (アクション: 見直す)

- ①では、「自分の得意分野や苦手分野を確認します」
- ②では、「得意分野をさらに伸ばすため、また、苦手分野を克服するために学習をどのように進めるか計画を立てます」
- ③では、「実際にワークやプリントを使った復習や、問題集などを利用した発展学習に取り組めます」
- ④では、「学習した結果、できるようになったのか、まだ不十分なのかを振り返ります(単元テストや定期テストがよい機会です)」
- ⑤では、「学習方法や内容が十分でない場合に修正を加えます」

①から⑤までの流れを家庭学習に取り入れていきましょう。そのためには、家に帰ってからの生活を見直すことも必要になってきますね。  
だからこそ「自己マネジメント力」を身につけ、学習も生活も充実させられるようにしましょう。

## 学校と家庭学習をつなぐ取組

### Do 家庭学習につなげる「放課後学習会」の実施

月2回の「ノー部活動デー」に「放課後学習会」を実施し、帰宅後の家庭学習につなげられるように工夫している。(2年目の取組)

《放課後学習会の概要》

- ・ 時間は30分間
- ・ 全校生が同じ教室で学習
- ・ 学習内容は自由
- ・ 養護教諭を含む全職員で指導にあたる(先生方による意図的な声かけ)

《成果》

- 質問の質がよくなってきている。
- 分からない問題を持ち寄り、先生方や友達に聞きながら課題解決に向かう姿が見られるようになった。
- 他学年の学習内容や学習状況を知るきっかけともなり、刺激にもなる。(異学年交流のチャンスにも)



### Plan Check 「ななもりノート」の活用

学校独自に作成している、生活と学習の記録ノート「ななもりノート」。

生徒の活用状況を踏まえながら、ノートの内容を毎年見直し、よりよいものとなるよう、改訂しながら活用している。

ノートには、宿題・自主学習の内容、学習した教科や時間等を記録する欄が設けられており、学習の計画立案、そして振り返りに活用できるようにしている。

先生方の助言等も充実しており、生徒たちの学習意欲を高めている。

「ななもりノート」の1ページ

4月22日 ~ 4月28日		今日の目標		1日を振り返って	
授業	連絡内容等	宿題・自主学習	宿題・自主学習	宿題・自主学習	宿題・自主学習
宿題休業日 1日の予定した時間を記入しましょう。					
22日	6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	自	自	自	自
(月)	お出掛け	勉強	勉強	勉強	勉強
23日		自	自	自	自
(火)		勉強	勉強	勉強	勉強
24日		自	自	自	自
(水)		勉強	勉強	勉強	勉強
25日		自	自	自	自
(木)		勉強	勉強	勉強	勉強
26日		自	自	自	自
(金)		勉強	勉強	勉強	勉強

# きめ細かな家庭学習の点検で目的意識を高める指導

富岡町立富岡第一・第二中学校三春校

- よりよい家庭学習の習慣化を目指し、保護者と生徒が相談して目標を設定し、週末に自己評価する取組を続けている。生徒と保護者がそれぞれ家庭学習の取組を振り返ることで、マンネリ化を防ぎ、生徒の自己マネジメント力を高めている。
- 個に応じた家庭学習の課題（宿題）を与え、学級担任と教科担当で点検し、個に応じたコメントを複数の教師が記入するなど、きめ細かな指導をしている。

## よりよい家庭学習の習慣化



### 自己評価と他者評価で自己調整力向上

よりよい家庭学習をめざして

<4・5月の目標>

① 生活習慣 <例>早起きをする  
必ず朝食をとる

② メディアの使用 <例>テレビの視聴時間  
1日の総量の削減

③ 学習習慣 <例>毎日2時間学習する  
宿題必ずやる

<取組をふり返って>

ふり返り	1週目 4月28日～5月4日	2週目 5月5日～11日	3週目 5月12日～18日	4週目 5月19日～25日	5週目 5月26日～6月1日
生徒の取組					
保護者の評価 (A～D)	項目① A B C D 項目② A B C D 項目③ A B C D	A B C D A B C D A B C D	A B C D A B C D A B C D	A B C D A B C D A B C D	A B C D A B C D A B C D
家庭からひとこと					
学校より					

※ 保護者印は月末に貼付いたします。

①生活習慣②メディアの使用③家庭学習の3つの項目ごとに親子で相談して目標を設定し、評価する。生徒、保護者、担任で振り返ることで、自己評価と他者評価の差を生徒が意識し、家庭学習に関わる自己調整のスキルが向上する。常に見直し、改善し続けることで、よりよい家庭学習の習慣が身に付いていく。



### 「ふり返りシート」による取組改善

よりよい家庭学習のために(ふり返りシート)

<この取組の目的>

(1) 家庭学習の方法を見直すことで、生徒自身の自己マネジメント力を高める。  
(2) 学校と家庭が連携して支援することにより、家庭学習の質を高める。

→ <目的が達成されると>

自分の取組を常に見直し、改善し続けることで、自己マネジメントのスキルが身に付き、その結果、学力向上が期待できる。

年 月	①生活習慣	②メディアの使用	③学習習慣	保護者
H30	5 朝寝、早寝、朝に遅れしかり守る。 A B	A ママの活用を2時間以内にする。 B	C 2時間以上勉強する。 B	B
	6 22:30までに寝る。 C	B フルタイムを8分15分以内には短縮する。 B	C 3時間以上勉強する。 B	B
	7 毎日、朝に起きる。 C	C デリア使用を1時間以内にする。 C	C 3時間以上勉強する。 C	C
	8 22:30までに寝る。 C	D フルタイムを8分15分以内には短縮する。 C	C 3時間以上勉強する。 C	C
	9 毎日、朝に起きる。 C	C デリア使用を1時間以内にする。 C	C 2時間以上勉強する。 C	C
	10 22:00には寝る。 C	D フルタイムを8分15分以内には短縮する。 C	C 2時間以上勉強する。 C	C
	11 毎日、朝に起きる。 D	D デリア使用を1時間以内にする。 D	D 3時間以上勉強する。 BC	BC
	12 毎朝寝起きを20分以内にする。 D	D フルタイムを8分15分以内には短縮する。 D	D 3時間以上勉強する。 C	C
	1 毎日、朝に起きる。 B	B デリア使用を2時間以内にする。 B	B 2時間以上勉強する。 BC	BC
	2 毎日、朝に起きる。 C	C フルタイムを8分15分以内には短縮する。 B	B 2時間以上勉強する。 B	B
	3 毎朝寝起きを20分以内にする。 BC	BC 朝の起床はフルタイムを8分15分以内にする。 CD	CD 3時間以上勉強する。 BC	BC
R1	4 毎日、朝に起きる。 C	C テレビの視聴時間1時間以内にする。 A	A 毎日1時間以上勉強する。 C	C
	5 毎日、朝に起きる。 C	C テレビの視聴時間1時間以内にする。 A	A 毎日2時間以上勉強する。 C	C
	6 毎日、朝に起きる。 C	C テレビの視聴時間1時間以内にする。 A	A 毎日2時間以上勉強する。 C	C
	7 毎朝寝起きを20分以内にする。 C	C テレビの視聴時間1時間以内にする。 A	A 毎日2時間以上勉強する。 C	C

<これから心がけていきたいこと>

生徒が家庭学習の取組を改善する視点となるよう、月ごとの目標と評価を一覧にしている。家庭学習の取組を見直すことにより、生徒の自己マネジメント力を高めている。また、学校と家庭が連携して支援することにより、家庭学習の質の向上も図っている。目標も達成可能で質の高い具体的なものになっていく。

## D. 個に応じた家庭学習

英語練習

英語科

国語科

氏名



個に応じた家庭学習の課題（宿題）を与えている。各教科で自主学習シートを用意しておき、学級担任と教科担当で点検し、コメントを記入して生徒にフィードバックしている。自主学習シートは一箇所にまとめておき、家庭学習で取り組む教科を生徒が選択できるようにしている。（写真左）

## 学校と家庭の連携による家庭学習支援

(2) 本校の重点

「習慣づくり」に重点をおき、家庭と連携しながら望ましい学習習慣を身に付けていきます。

STEP1 3つの目標を立てる

お父さんと相談しながら、3つ項目についての目標を立ててください。

① 生活習慣 (例) 早寝早起き、朝食を必ずとる、手伝いをする など  
② メディアの使用 (例) テレビ・ゲーム・スマホ等の使用時間規定 など  
③ 家庭学習 (例) 毎日2時間学習する、決まった時間に学習する など

※ 目標は、3項目のうち1つか2つでもかまいません。

STEP2 取組をふり返る

保護者の方が、週末に3つの目標の達成状況をそれぞれ4段階(A～D)で評価してください。時間のある時にはコメント(ほめたり励ましたりする言葉)もお書きください。

STEP3 目標を見直す

取り組んでいく中で達成できた項目があれば、その項目の目標をステップアップさせてください。原則として、月ごとに目標を見直していただけますが、達成できなかった項目は目標を変更せず継続してもかまいません。

本校では、「STEP1→STEP2→STEP3」の手順をくり返して、よりよい習慣を身に付けさせたいと考えています。保護者のみなさまのご協力をお願いします。

4月に配布

具体的な3つのステップを繰り返して、生徒の家庭学習を支援していくことを、年度初めに家庭と共有する。

# 生徒の自立を促す学習支援と学習環境の整備

いわき市立小名浜第二中学校

- 家庭学習について教職員が共通理解を図り、年度当初に自主学習についての内容・方法を指導し、生徒の継続的な取組を促している。
- 身に付けさせたい内容についてプリントを用意し、生徒が自分の課題に合わせて選択して取り組めるような環境を整備し、自己マネジメント力の育成を図っている。

## 年度当初における学習の仕方の指導

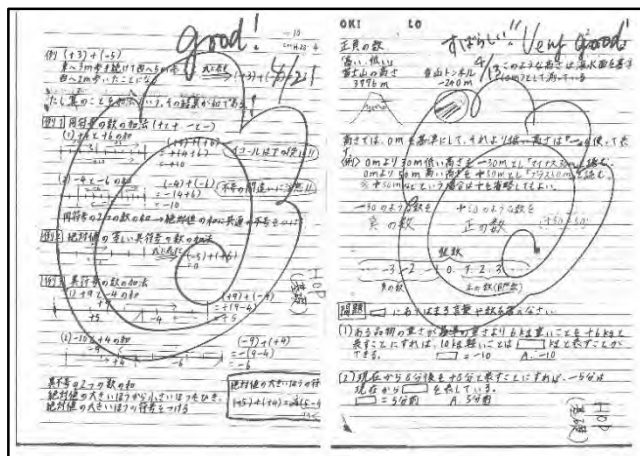
### Research 自学ノート指導

#### 第1学年 自主学習の進め方

継続は力なり。毎日1ページ以上の自主学習を行いましょう。ただ…「何をやったらいいかわからないなあ。」「どんなふうにもノートにやるのかな。」といった思いもあると思います。ここにいくつか何を挙げますので、参考にしてください。しかし、これに限ったことではありません。自分が自主学習を継続していく中で、自分なりのやり方や方法が見つかるかもしれません。どんどん工夫を凝らして進めてください。

**HOP (基礎)** … ○暗記が基本となるもの  
○授業の復習 (ノートのまとめ直しなど)  
例えば…漢字の読み書きの練習、語句の意味調べ、教科書の音読  
国語文法の学習、教科書の音読、掛け算九九、分数の計算  
数学公式を覚える、英語構文の暗記、英単語の意味調べ、  
英語文法の学習、英語構文の暗記、理科の基本事項  
理科や社会の重要語句を覚える、  
歴史の年号や事柄を覚える、  
地名や地方名とその特徴を覚える などなど

**STEP (定着)** … ○暗記したものを確認する学習  
○授業で学習したものの定着を確認する学習  
例えば…授業のワークシートをもう一度やり直してみる  
ワークや問題集の問題に取り組む  
定期テストや単元テストの反答 (やり直し)

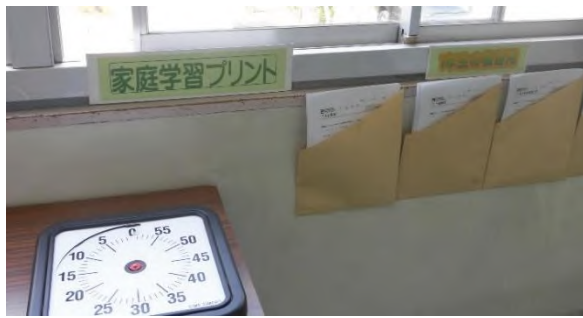


年度当初に自主学習の内容や方法、進め方について指導を行っている。

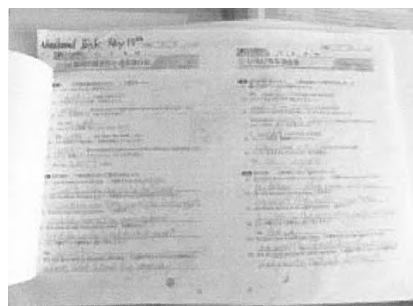
先輩の自学ノートを掲示し、実際に手に取ってノートづくりの手本としている。

## 生徒が自主的に家庭学習に取り組むための環境の整備

### D. 家庭学習プリント



生徒の取組の足跡が残るように、頑張りカードやポイントカード等に記録し、頑張りを励ましている。



授業で使用した適用問題や、取り組んでほしい発展問題等を廊下に置いている。生徒は自由にとることができ、家庭学習等で活用している。

問題用紙と答えを一緒に閉じさせ、復習にも活用している。



# 【資料編】

【資料編】には、【事例編】で紹介した各校の実践の中から以下の内容に関連した資料をジャンル別に掲載しています。

- 1 家庭学習の手引き等
- 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等
- 3 教職員の共通理解
- 4 保護者へのアプローチ
- 5 その他

基本的には、【事例編】に掲載している資料ですが、紙面の都合上、小さかったり、見づらかったりする資料を拡大して掲載しています。【事例集】に掲載できなかった資料もありますので参考にしてください。





# かていがくしゅうのすすめかた

ねん  
1・2年



じかん

30分～60分かん

きほんの  
がくしゅう

- ・しゅくだいは、かならずやる。
- ・音読（声に出してみよう。）
- ・かん字と計算のれんしゅうをしよう。（まちがったらなおそう。）

ちょうせん  
してみよう

- ・きょうがくしゅうしたことをもういちどやろう。
- ・読書をしよう。
- ・日記や手紙や作文を書こう。
- ・生き物や草花のかんさつをしよう。
- ・もんだいをといたりもんだいを作ったりしてみよう。

<やくそく>

- 帰ったらすぐに始めよう。
- テレビをかけたままきょうろしよう。
- しせい・えんぴつのもちかたに気をつけよう。
- ていねいな字で書こう。

※ 家の人に丸をつけてもらい、まちがいをなおして出しましょう。

# 家庭学習のすすめ方

3・4年



時間 45分～70分間

国語

- ・教科書を音読しよう。
- ・新しい漢字調べよう。
- ・漢字の練習をしよう。
- ・読書をしよう。
- ・複写をしよう。
- ・作文や日記を書こう。
- ・新聞やニュースへの考えを書こう。

算数

- ・授業の学習や復習をしよう。
- ・ドリルでくり返し練習しよう。
- ・テストの間違い直しをしよう。
- ・問題の解き方をノートにまとめよう。
- ・問題を作ってみよう。
- ・学習したことを生活の中に生かそう。

理科

- ・教科書やノートを読み、授業の予習や復習をしよう。
- ・大事なことをノートにまとめよう。
- ・図鑑を読もう。
- ・身のまわりの生き物や植物を観察しよう。
- ・不思議に思ったこと、疑問に思ったことを調べよう。

社会

- ・教科書やノートを読み、授業の予習や復習をしよう。
- ・自分の住んでいる地域や県のことを調べよう。
- ・都道府県の位置をおぼえよう。
- ・新聞やニュースを見よう。
- ・歴史の本を読もう。
- ・図やグラフを見て考えよう。

学習活動の流れ

- 1 読む・調べる ⇨ 2 書く・まとめる ⇨ 3 練習する ⇨ 4 ふり返る

<やくそく>

- 帰ったらすぐに始めよう。
- テレビを消して勉強しよう。
- 時間・内容の計画を立てよう。
- よい姿勢でがんばろう。

※ 自分で丸つけをして、まちがいを直してから出しましょう。

# 家庭学習のすすめ方

5・6年



時間 70分～90分間

国語

- ・教科書を音読しよう
- ・新しい漢字調べよう
- ・漢字の練習をしよう
- ・読書をしよう
- ・複写をしよう
- ・作文や日記を書こう
- ・新聞やニュースへの考えを書こう

算数

- ・授業の予習や復習をしよう
- ・ドリルでくり返し練習しよう
- ・テストの間違い直しをしよう
- ・問題の解き方をノートにまとめよう
- ・問題を作ってみよう
- ・学習したことを生活の中に生かそう

理科

- ・教科書やノートを読み、授業の予習や復習をしよう
- ・大事なことをノートにまとめよう
- ・図鑑を読もう
- ・身のまわりの生き物や植物を観察しよう
- ・不思議に思ったこと、疑問に思ったことを調べよう

社会

- ・教科書やノートを読み、授業の予習や復習をしよう
- ・自分の住んでいる地域や県のことを調べよう
- ・都道府県の位置をおぼえよう
- ・新聞やニュースを見よう
- ・歴史の本を読もう
- ・図やグラフを見て考えよう

学習活動の流れ

- 1 読む・調べる ⇨ 2 書く・まとめる ⇨ 3 練習する ⇨ 4 ふりかえる

<やくそく>

- 帰ったらすぐに始めよう。
- テレビを消して勉強しよう。
- 時間・内容の計画を立てよう。
- よい姿勢でがんばろう。

※ 自分で丸つけをして、間違いを直してから出しましょう。

# 家庭学習の手引き

二本松市立東和小学校 第6学年

■家庭学習について

- 「読む」「書く」「計算」の学力の土台になる力をつけよう。
- 自分で課題を見つけ、解決したり追究したりする自主学習に取り組めます。

■学習時間のめやす

70分

■家庭学習のポイント

- 生活リズムを見直しましょう。
- 早く、早起き、朝ごはんの習慣を身に付ける。
- スタイア活用の時間を自己管理する。
- 計画的に取り組みましょう。
- 学習する時刻と時間を決める。
- 学習する内容を決める。
- 学習する方法を決める。
- 目標に向かってがんばりましょう。
- 集中できる、明るい場所で学習する。
- 正しい姿勢で取り組みよう。
- 学習内容を確認しましょう。

■学習を始める前に

- 学校からのプリントや連絡帳を家の人にせましよう。
- テレビや音楽などは消し周りを整頓しよう。
- テーブルや机の上や周りを整頓しよう。
- 学習に必要な用具を準備しよう。
- 学習のめやすを決めよう。
- 学習を始める時刻と時間を決めよう。
- 学習内容と方法を決めよう。
- 正しい姿勢で勉強しよう。

■音読

- 家の人に聞かせましょう。
- 声に出して、はっきり読み、表現を工夫しましょう。
- 詩や俳句、古典の作品を朗読したり、暗唱したりしましょう。

■宿題

- 文字・文章・数字などをていねいに書きましょう。
- 分からないところは、教科書で調べましょう。
- 見直しをして間違いを直し、もう一度復習しましょう。

■自主学習

●内容

- 復習
  - ・今日の復習
  - ・少し前の復習
  - ・テストやプリントでまちがえた問題
  - ・漢字、計算の練習
  - ・算数の活用、短文文
  - ・問題の解き方の解説や、問題作り
- 予習
  - ・明日の授業の予習
  - ・明日のテストの予想
  - ・調べ学習（意味・使い方、短文作り）
  - ・複写（教科書の文章を書き写す）

●方法

- 自主学習のめやすをかきまます。
- 復習
  - ・授業の学習日記を書く。
  - ・問題の解き方の説明を書く。
  - ・大事な言葉の意味をまとめる。
  - ・授業と似た問題を作る。
- 漢字、計算
  - ・書き順に注意し書いて覚える。
  - ・短、長作文に挑戦する。
  - ・テストをして、丸付けをする。
- 学習
  - ・明日、学習する内容を読む。
  - ・教科書の言葉を辞書で調べる。
- 自主学習の振り返りをかきまます。

■学習が終わったら

- 机の上を片付けよう。
- 家の人に学習したことを見せます。家庭学習の感想を話しましょう。
- 明日の準備をします。忘れずにランドセルに入れましょう。
- ・学習用具、教材をもれなく準備し、整える。
- ・時刻をそろえる。
- ・連絡帳を見て、必要な物・提出する物を確認する。



2019 家庭学習のすすめ

—確かな学力の育成をめざして—



郡山市立桜小学校

◎ 学習のやり方と環境作り

学習のやり方7か条

- 1. 毎日、決まった時刻に机に向かう。
2. 机の周囲を整理し、必要なものをそろえてから、取り組む。
3. 集中するために、少なくとも最初の10分間は立ち歩かない。テレビを消し、途中でおやつを食わない。
4. 正しい姿勢で、机に向かって学習する。
5. 分からないときは、教科書を見たり家人に聞いたり、辞書などで調べたりする。
6. 少しずつでも、毎日学習の時間を作る。(家庭・うちどくの確保。週末は長編に挑戦!)
7. 家の人に、毎日見てもらう。

ワンポイントアドバイス

時間を決める

「学校から帰ったらすぐ」が望ましいのですが、家庭の事情に合わせて時間を設定しましょう。生活の中に決まった時間帯で組み込まれていることが大切です。

学習時間 (宿題を含めて)

Table with 4 columns: 学年, 通常の授業の目安, 長期休業の期間の目安, 学習時間

【おうちの方へ】

※ 通常の学習は「10分×学年+10分」が目安です。しかし、時間の多少に関わらず、継続することが大切です。お子さんの取り組みを認めながら励ましてください。
※ 毎日わが子の宿題でふれ合う時間を生活の中に組み込み、お子さんの学習を見てあげましょう。また、不十分なところが目に付いてもいい点をほめながら、あせらず成長を待ちましょう。家の人に認められることで子どもは精神的に安心し、やる気もあきます。

◎ 自主学習の内容 (例)

1. 「読み・書き・計算」の力をつけるために

- 教科書などの自読 (国語以外でもよい)
漢字練習
新出漢字の短文づくり
視写
ローマ字練習
題詞句の意味調べ・短文づくり
100マス計算
計算問題練習 など

2. 読書力をつけるために

- 読書をする。
※ おすすめブックリストを参考に
聞く人を意識した上で読み聞かせをする本を選ぶ。(相手意識を持った読書活動)
読後の感想を伝える。 など

3. 授業で学習したことを定着させるために

- その日学校で学習した内容の復習のために
ノートを見直す。
大事なことをまとめる。
よくわからなかったことを調べる。
予習のために
読句の意味を調べる。
教科書を読む。 など

4. 手先や体を動かすことで脳を活性化するために

- 不用品で工作や小物作りをする。
笛や鍵盤ハーモニカの練習をする。
料理を手伝う。
家の掃除をする。 など

5. 自然や社会を見る目を育てるために

- 身の回りの植物や生き物を観察する。
体験や発見を日記や作文、絵に書く。
新聞記事から興味のある事情を選んで、わかったことをまとめる。 など

【おうちの方へ】

★ 桜小学校では、「確かで、豊かな言語力」を育む学習指導法の研究に力を入れています。そこで、家庭学習においても「言語力」をさらに伸ばすために、◎の箇所を特に意識して家庭学習に取り組んでいただければ幸いです。
★ 各学年で「チェックシート」「自読カード」等を活用して学習の足あとを残し、お子さんが積極的に取り組めるようにしていきます。サインやコメントなど、家庭の協力をいただきながら、お子さんの力を伸ばしていきます。

わかる!できる!よくなるために「自己マネジメント力」を身に付けよう!

Research 「自分を知る」

★ 自分の課題を客観的にとらえよう!

「何がわかって、何がわからない?」「何ができて、何ができない?」



Plan 「計画する」

★ 自分の課題にそった目標や計画を立てる。

わかる・できるようになるためには、「何を、どのような方法で、どのくらいの学習すればいい?」

Do 「自ら学習する」

★ 計画にそって主体的に学習する。

「今だけでなく、将来の自分のためにも、計画にそって進んで学習するぞ!」

Check 「確かめる」

★ 学習の結果や取り組みを振り返り、確かめる。

「時間内に集中してできたかな?」「自分が一番わかる・できる学習方法は見つかったかな?」「テストの結果に結びついたかな?」

Action 「見直す」

★ 学習の内容や方法を見直し、修正する。

「休日の自主学習の時間は、〇時間にしよう!」「苦手な学習を強化するために、学習内容や方法を見直そう!」「睡眠も大事!だから、夕食前には自主学習を終わらせよう!」

第6学年自主学習パワーアップカード

自主学習の約束

- 1 自主学習を始める前に、日付と曜日、具体的なめあてを書く。(1ページの上の余白)
2 「1日びっしり2ページ」を目標にがんばる。
Aメニューは必ず1ページ
その他BやCメニューから1ページ
3 いろいろな教科がたよりなく取り組む。
4 身やすくていぬいにまとめる。(文字はていぬいに、直線は定期を使ってかく)
5 答えがあるものは、自己採点をして、まちがい直しする。
6 自主学習が終わったら、自主学習時間とめあてに対応したふりかえりを書く。(その日の最終ページの上の余白)
7 友達の自主学習ノートを参考にしながら、レベルアップをはかる。

自主学習のメニュー

★Aメニュー (復習・予習) ※わからない・できないことを中心に

- ★復習 → 授業のノートを丸写しするのではなく、習ったところを自分なりにまとめでたり、似ている問題を教科書や参考書から探し解いたりする。
★予習 → 次の授業でやるところを読んで、大切なところをまとめてたり、問題を解いたりする。
★まちがい直し → テストやプリントなどでまちがえた問題をもう一度解き直す。

★Bメニュー例 (わかりやすく文章で表現する)

- ★今日のニュース → 新聞記事やニュース番組で気になったことを紹介するとともに、自分の思いや考えをまとめる。
★日記 → 五感をフルに使って、その日の出来事、自分の思いや考えをまとめる。
★読書感想文 → 読んだ本に対する感想をまとめる。

★Cメニュー例 (内容を自分で考え工夫する)

- ★漢字練習 (文中でも活用できるよう練習の仕方を工夫すること)
★敬語
★和語・漢語・外来語
★同じ読み方の漢字や同じ部分をもつ漢字集め
★意味調べ (漢字、言葉、ことわざ、四字熟語など)
★計算練習
★いろいろな単位のかん算
★面積や体積
★コンパスや三角定規を使った作図 (合同、拡大図や縮図)
★日本の地形、自然、環境問題
★世界の大陸・海洋、国々の位置
★いろいろな国の国旗や首都
★日本の歴史上の主な出来事や人物
★代表的な文化遺産
★日本国憲法と政治の働き
★世界の中の日本の役割や我が国の国際交流や国際協力について
★理科の学習に関する課題について図鑑や辞典で調べ
★言葉写し、語名調べ、音符や記号の意味
★保健 (心の健康やけがの防止、病気の予防) など

## 家庭学習のすすめ

西郷村立小田倉小学校



学習指導要領では「生きる力」を育てることをめざしています。そのためには、人間として「自立」（他から支援を待たず、自分の力でやっていくこと）、そして「自律」（自分の意思で立てた目標、ルールに従い行動すること）が求められます。学習面でも同じように、「自ら学ぶ力」が求められます。「自ら学ぶ力」とは、「先生や他の人に言われなくても宿題や課題をやることができる」「わからないことは自分で調べる」「自分のために学ぶとする意欲をもつ」という「自立心」と、「目標に近づぐために苦しまずやり続ける」「興味・関心を持ったことをどこまでも追求する」「自分で考えて学習の仕方工夫する」という「自律心」に裏付けられた力です。

### 1 家庭での学習を習慣化しましょう

#### 学力アップは、規則正しい生活から

- 早寝・早起き・朝ご飯・朝の排便の習慣化
- お家の人とテレビやゲーム、インターネットを見る時間や使い方の約束を決める

#### 家庭学習の3つのポイント

- テレビやゲーム、iPad などから離れて
- 時間を決めて ○ 机の上をきれいにして

### 3 各学年で身に付けたい力

#### 1年生

- ① 鉛筆を正しくもって字や線を書ける。
- ② ひらがな、カタカナを読める。書ける。
- ③ たし算・ひき算の意味がわかり、計算ができる。(筆算は正しく、繰り下がり、繰り上がり、2桁)。
- ④ 時計が読める。(何時、何時半、何時何分)
- ⑤ 80字の配当漢字を全て読めて、8割以上正しく書ける。

#### 2年生

- ① 160字の配当漢字の全てを読めて、8割以上の漢字を正しく書ける。
- ② 主題と述語の意味が分かり、順序よく話したり書いたりできる。
- ③ 時刻と時間の意味が分かる。長さや水のかさをはかることができる。
- ④ かけ算九九をすらすら唱えたり、たし算・ひき算の筆算ができたりする。

#### 3年生

- ① 200字の配当漢字やローマ字を正しく読んだり、書いたりすることができる。
- ② ことわざや慣用語を知り、敬語などを正しく使うことができる。敬語や敬語の意味が分かる。
- ③ かけ算やわり算の筆算ができる。小数・分数の計算ができる。長さや重さを測定できる。時刻・時間を正しく求めることができる。
- ④ コンパスを使って簡単な図形をかいたりできる。
- ⑤ リコーダーを正しく演奏することができる。

### 2 家庭学習の参考例(各学年共通)

#### 【国語】

- ・音読 ・視写 ・日記 ・作文(400字)
- ・意味調べ ・詩の暗唱 ・漢字練習

#### 【算数】

- ・視写 ・計算・文章問題の練習 ・作図

#### 【社会 理科 生活 総合 音楽 図工 家庭】

- ・視写 ・学習したことに関連する事柄を教科書、事典、インターネット等で調べる

#### 4年生

- ① 202字の配当漢字を全て読めて、8割以上の漢字を正しく書ける。47都道府県の位置が分かり、漢字で正しく書ける。漢字辞典を正しく使える。
- ② わり算の筆算や小数、分数の計算ができる。
- ③ 分意図を正しく使える。並列や平行の意味やわかる。面積を求めることができる。
- ④ 理科の学習に使う用具(望遠鏡、方位磁針、温度計、ガスコンロ)の使い方が分かる。

#### 5年生

- ① 199字の配当漢字の全てを読めて、8割以上の漢字を正しく書ける。敬語の敬称、敬語力、敬語力。
- ② 小数のかけ算・わり算、分数の加減乗除を正しく解くことができる。体積を求めることができる。
- ③ 割合や単位あたりなどの大きさの意味が分かり、正しく解くことができる。
- ④ 世界の国や大陸の名称や位置、日本周辺の国の名称、我が国の領土が分かる。
- ⑤ 理科の学習に使う用具(けしき瓶)の使い方がわかる。

#### 6年生

- ① 191字の配当漢字の全てを読めて、8割以上の漢字を正しく書ける。和語・漢語・外来語などの理解。
- ② 分数の加減乗除の計算ができる。比や差の意味を理解し正しく求めることができる。
- ③ 歴史上の主な出来事やそれに関わる人物について調べたり、理解したりすることができる。
- ④ 理科の実験器具(リトマス紙、ガスコンロ)の正しい使い方がわかる。

## 5年生 自主学習メニュー表

高野小学校



バランスよく学習計画を立てて、楽しくつけていこう!

### <パッチリメニュー>

国語	読む	書く	漢字
	<input type="checkbox"/> 語句の意味調べ <input type="checkbox"/> 物語の感想文 <input type="checkbox"/> 説明文の感想文 <input type="checkbox"/> 「言葉の学習」の練習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 視写 <input type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> 日記 <input type="checkbox"/> 詩・俳句 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 漢字ドリルを活用して <input type="checkbox"/> 漢字の成り立ち調べ <input type="checkbox"/> 音訓調べ <input type="checkbox"/> 短文作り <input type="checkbox"/>
算数	<input type="checkbox"/> 計算練習 <input type="checkbox"/> 計算の仕方の説明 <input type="checkbox"/> 問題作り <input type="checkbox"/> 予習 <input type="checkbox"/> 復習(教科書やドリルを活用して) <input type="checkbox"/>		
社会	<input type="checkbox"/> 大切な言葉(キーワード)の意味の確認 <input type="checkbox"/> 大切な言葉の練習(漢字練習のように) <input type="checkbox"/> 都道府県調べ <input type="checkbox"/> 地図調べ <input type="checkbox"/> 予習		
理科	<input type="checkbox"/> 復習(実験から分かること・大切な語句・実験器具の使い方) <input type="checkbox"/> 予習		

### <ワクワクメニュー(例)>

国語	<input type="checkbox"/> ことわざ・四字熟語調べ <input type="checkbox"/> 作文・日記 <input type="checkbox"/> 物語作り <input type="checkbox"/> 詩・俳句作り <input type="checkbox"/> 読書感想文 <input type="checkbox"/> おすすめの本の紹介 <input type="checkbox"/>
算数	<input type="checkbox"/> 数のふしぎ <input type="checkbox"/> 図形のふしぎ <input type="checkbox"/> 数や単位などの考え方を見つけた人
社会	<input type="checkbox"/> 世界の国々調べ <input type="checkbox"/> 世界の○○ランキング <input type="checkbox"/> 都道府県○○ランキング <input type="checkbox"/> 新聞記事についての感想 <input type="checkbox"/>
理科	<input type="checkbox"/> 昆虫・動物・植物観察 <input type="checkbox"/> 星座調べ <input type="checkbox"/> ○○のひみつ <input type="checkbox"/>
家庭	<input type="checkbox"/> お手伝い日記 <input type="checkbox"/> おかず・スイーツ作り(作り方・作った感想)
図工	<input type="checkbox"/> 折り紙の折り方 <input type="checkbox"/>
道徳	<input type="checkbox"/> ほかほかエピソード(友達の良いところさがし) <input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/> ローマ字で日記を書く <input type="checkbox"/> アルファベットの練習 <input type="checkbox"/> ペット紹介 <input type="checkbox"/> お気に入りの○○紹介 <input type="checkbox"/> 自動車や電車調べ <input type="checkbox"/> スポーツの練習の仕方 <input type="checkbox"/> ○○が上手になる方法紹介 <input type="checkbox"/> 生き物の飼育の仕方    など

# 1 家庭学習の手引き等

渡利中学校

## 家庭学習を充実させ、 学力をもっとのばそう！

渡利中学校

### 1 なぜ家庭学習が必要なの？

中学校での学習は、社会人として自立するための基礎となる「学力」を育てます。学校では基礎学力を身に付け、高めることを目指して授業を行っています。さらに、皆さんが家庭学習に取り組むことで、その成果を何倍にも高めることができます。「学力」とは、「もっと調べてみたい」「もし…だとしたら、どうなるのだろう」「なぜ…なのだろう」と、自分で意欲や疑問をもちながら、既習の知識を生かし、見直しをもって考えたり、表現したりする力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、「分かった」「できた」という体験が増え、学習が楽しくなります。そして、学習習慣が身につく学力の向上が期待できます。また、集中力やしっかりとした考え方が身につく、困難なことに出会ってもくじげず、積極的にチャレンジしようとする力が備わります。

#### ～学力をつけることは一生の財産～

- ☆知らないことが理解でき、学習が楽しくなる！
- ☆将来の選択肢（希望する高校や大学などの進学・やりたい仕事など）が広がる！
- ☆自分の考えが広がり、深まり、向上心をもって生きる（学び続ける）態度が身につく！

生徒のみなさん一人ひとりが、中学校の学習内容をしっかりと身につけ、夢や希望の実現を目指しましょう！

### 家庭学習のスタンダード(福島市版より)

### 2 どんなことをすればいいの？

家庭学習は「宿題」＋「自主学習」である

宿題	自主学習
授業における学習内容の習熟、補充的な内容 例) 学習プリント、ワークブック、教科書の問題、継続的に行う受験対策用教材(3年)等	自主学習1: 授業の復習予習、問題集、1・2年の学習内容の補充 自主学習2: 自己の目標実現のための学習(各種検定の準備、高校入試対策など)

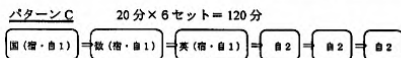
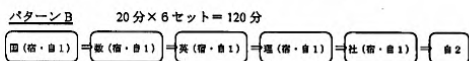
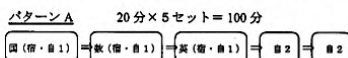
- 技家・・・学習ノートを活用し重要語や事項等を書き出し復習
- 保体・・・教科書やワークから理論に関する重要語や事項を書き出し復習

※ 終わりに、成果や反省を具体的に書きましょう。

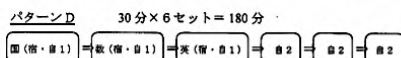
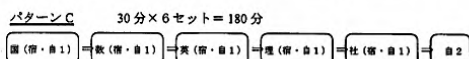
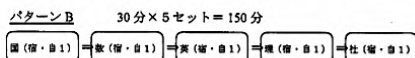
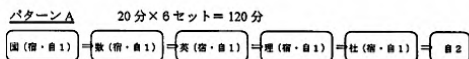
例) 英単語を○個覚えて書けるようになった。/ 計算ができるようになった。

### 3 家庭学習の取り組みの例

[1・2年生] ※時間はあくまで目安です。 宿: 宿題, 自: 自主学習



[3年生]



渡利中学校

### 1・2年生: 実力養成期

「学習内容・量などを調整し、計画的・継続的に学習に取り組む」

- 自分の生活を見通して学習プランを立て、集中しやすい時間帯に集中しやすい場所で学習する。
- 何を学習しなければならないのかを考え、教科の組み合わせを工夫して学習する。
- 自主学習1(復習・予習)を中心に学習する。

### 3年生: 完成期

「進路実現に向け、自律的に学習に取り組む」

- これまでの経験を生かし、自分なりの学習スタイル(時間、場所、取り組み方など)を確立する。
- 授業の復習・予習に加えて、自己の目標実現のための学習(自主学習2)にも計画的に取り組む。

### 【具体的な自主学習ノートの活用法】

※ 始めにノートに、目標◎を書きましよう。例) Unit 3◎の単語を覚える。

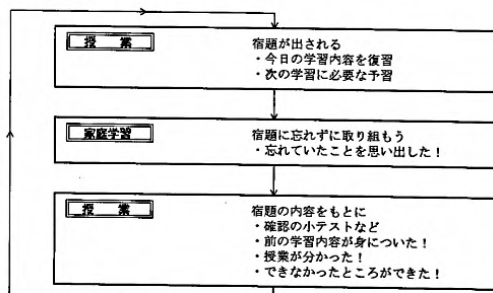
- 国語・・・漢字の読み書き、語句の意味調べ、短文づくり  
ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
新聞記事の要約や感想記述
- 数学・・・間違えた問題のやり直し(計算の手順がはっきりわかるように・計算式をていねいに書く)⇒(正しくできるようになったら)速さも追求
- 英語・・・単語練習(必ず最後はテスト形式で確認)  
教科書の基本文の書き出し、自分で単語を( )にして解答( )の数を段階的に増やして最終的に英作文の練習  
ワークやプリント等のできなかった問題のやり直し
- 理科・・・教科書の重要語や記号、観察・実験についてのまとめ  
ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
重要語句や記号、公式等を繰り返し書いて練習
- 社会・・・教科書の内容のまとめ  
重要語句の書き出し、(その説明付き)  
本や新聞を読み、教科書の内容と比較し感想を記述  
(地理:各地をたずねた紀行文 歴史:学習マンガ 公民:新聞やニュースからの時事問題)
- 音楽・・・授業で教科書等にメモしたことをノートに整理  
習った歌についての記号の名前と意味の確認
- 美術・・・スケッチ・重要語句等の確認



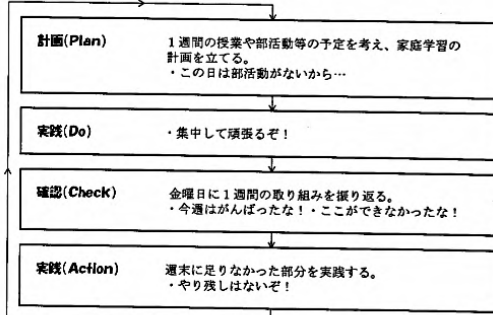
渡利中学校

### 4 家庭学習をレベルアップさせるために！

#### ポイント1:「授業」と「家庭学習」のサイクル化



#### ポイント2:家庭学習のマネジメント・サイクル化



# 1 家庭学習の手引き等

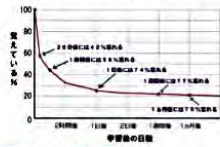
岩江中学校

## 「家庭学習」は何のために？

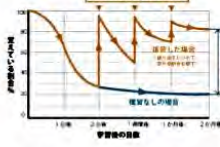
### 1 学習内容が定着する

学校で学習した内容を、授業で一度やっただけ覚えることは難しいものです。そこで、家庭でも一度学習（復習）することにより、その内容の習熟・定着を図ることができます。特に語句や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。

エビングハウスの忘却曲線



繰り返し学習



### 2 脳が活性化される

毎日繰り返し学習することは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになります。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。

### 3 学ぶ習慣が身につく

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、それが当たり前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力になります。中学校のうちだけではなく、高等学校でも学ぶことは続きます。「生きていることは学ぶこと」社会人になってからも学ぶことは続くのです。今のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが非常に大切です。

### 4 子どもの心を育てる力があがる

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。集中力が身につけば、学習の定着度も上がります。更に、短時間で学習を行うことができますので、自分の時間も作れます。そうすれば、その時間で好きなことをすることもでき、いいことづくめです。

## 「家庭学習」は何をすれば？

**宿題と自主学習**です。学校で「わかった」ことが、家庭での反復学習によって「できる」という自信に変わります。宿題の確認と自主学習の計画は毎日の学活で行います。自主学習は、下表のとおり、R-POCAサイクルを通して、行いましょう。



## 「家庭学習」はどれくらい？

学年によって次の時間を目安に取り組みましょう。  
**1年生：1時間30分** **2年生：2時間** **3年生：2時間30分(部活動引当は4時間)**  
 適度な休養を取ると効果が上がります。時間を上手に使い、睡眠時間も確保しましょう。また、「ながら勉強」はやめましょう。

岩江中学校

# 家庭学習の手引き



年 組 番 名 前

## 三春町立岩江中学校

岩江中学校

## 自主学習の実践例

### 1 ドリル学習

### 2 まとめ学習

岩江中学校

## 家庭学習の計画 実施するものに○をつけよう。

日(曜)	宿 題	自主学習	時間	担任	経 緯
1日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
2日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
3日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
4日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
5日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
6日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
7日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
8日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
9日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
10日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
11日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
12日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
13日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
14日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
15日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
16日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
17日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
18日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
19日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
20日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
21日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
22日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
23日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
24日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
25日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
26日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
27日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
28日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
29日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
30日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
31日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			

実際にできたものには、赤で○をつけよう。

## なぜスケジュール手帳？

目標や夢をかなえようとしているスポーツ選手、タレントが「ノート」を利用しているのは有名な話です。サッカーの本田圭佑選手、テニスの錦織圭選手、フィギュアの羽生結弦選手、女優の有村架純さんも使っているそうです。その「ノート」に何が書いてあるのか？

その秘密がスケジュール手帳にあります。簡単にいうと『できる大人』が使っているということなのですが...。その秘密に迫るため、スケジュール手帳を利用して考えてみましょう。

## 基本的な使い方は

1 まずは裏表紙をめくって、名前、住所、連絡先、学校名、出席番号を書こう。

- 住所：福島県本宮市白岩字柳内 835
- 連絡先：0243-44-2009
- 学校名：本宮市立白沢中学校

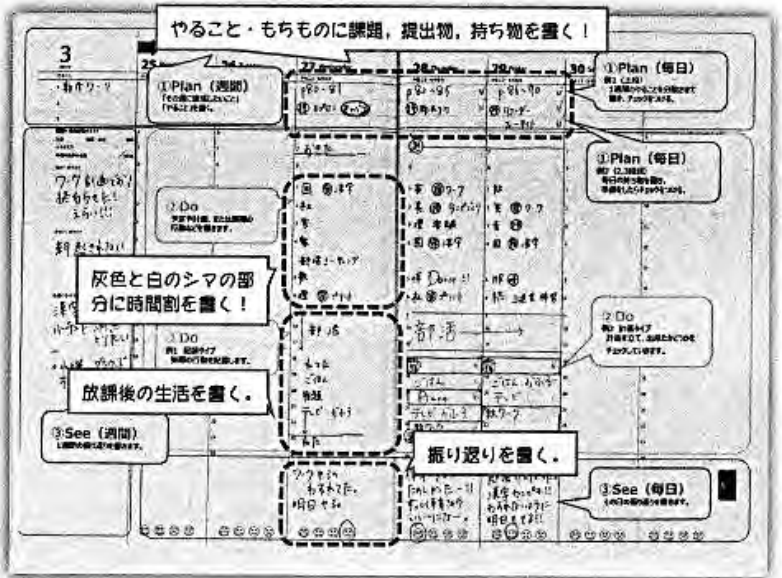
- 2 大事なことをすぐ書こう！開く習慣を！
- 3 放課後の時間の使い方を記録しよう。
- 4 1日を振り返ろう。

【注意】他人の手帳を勝手に見てはいけません。

## 使いこなすために

とりあえずできることからやってみましょう。はじめからカンペキを目指さないことが大切です。

- 1 日の流れで使い方を確認してみましょう。
- (※ プリントの裏に続きます。)



☆ 朝の学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く。【まずは開く！】</li> <li>・ 起床時間をメモする。</li> <li>・ 1日の予定や計画を確認する。</li> <li>・ 1日の予定や計画を書く。</li> </ul>
☆ 授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すぐ出せるようにしておく。</li> <li>・ 移動教室に持っていく。</li> <li>・ やること、その週に達成したいことなどをメモする。</li> </ul>
☆ 帰りの学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く。【まずは開く！】</li> <li>・ 計画が実行できたかをチェックする。</li> <li>・ 翌日の予定、計画、持ち物を書き込む。</li> <li>・ 1日の振り返りを書く。</li> </ul>
☆ 自宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く【まずは開く！】</li> <li>・ 計画が実行できたかをチェックする。</li> <li>・ 1日の実際の行動を記録する。【とにかく記録！】</li> <li>・ 1日の振り返りを書く。</li> <li>・ 顔マークに○をつける。</li> <li>・ 翌日の予定、持ち物を確認する。【チェックも！】</li> <li>・ 就寝時間をメモする。</li> </ul>

次に1週間のスパン（期間）での使い方です。

☆ 週のはじめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「目標やテーマ」にその週に達成したいこと、やることを書く。</li> <li>・ 勉強時間の目標を決める。</li> </ul>
☆ 週のおわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1週間の勉強時間を累計して結果に記録する。</li> <li>・ 今週の自分の点数をつけてみる。</li> <li>・ 「ほめ！ポイント」にできたこと、がんばったこと</li> </ul>

- と必ず書く。見つけて書く。【重要！】
- ・ 「来週にむけて」に抱負をまとめる。

## さらに使いこなす！

- ・ 肌身離さず活用しよう。

みんなが使いやすいように先生方もチェックの時間を工夫します。

- ・ プライベートの予定も書き込もう。
- ・ 少し先の予定も書き込もう。
- ・ 家族の予定を書き込もう。迎いの都合などを確認しよう。
- ・ ビニールカバーに重畳書類をはさみこもう。
- ・ やることを付箋に書いて、終わったら1つずつはがしていこう。
- ・ 毎日、書く言葉は記号を決めて書いたり、シールを活用したりしてみよう。例えば、勉強の「べ」、studyの「S」、learnの「L」など
- ・ 友人や家族の記念日、誕生日、好きなタレントの誕生日を書き込もう。
- ・ カウントダウンを書き込もう。
- ・ 例えば、「支部中体連まであと〇日」、「白中祭まであと〇日」など
- ・ 巻末のメモ欄に講演会などで心に残った言葉を書き留めよう。
- ・ セルフマネジメントナビを参考にしよう。

## 『できる大人』の秘密

その秘密を解く鍵は「PDSサイクル」！今回はここまで。



# 1 家庭学習の手引き等

荒海中学校

## 家庭学習の意義とねらい

学習をしていく上で大切なことは「積み重ね、繰り返し」です。その日、その日に学習した内容をおろそかにしたのでは、次の時間の学習内容がよく理解できなくなってしまいます。たとえば、数学(算数)の授業時間に学習した内容を考えてみてください。必ず前の授業時間に学習した内容が理解されていなければ、新しい内容を理解することはできないようになっていきます。よく言われている、「授業」→「復習」→「予習」の学習サイクルが確立していないと難しさを感じるようになってしまうということです。だからこそ、家庭での学習がとても重要になってくるわけです。

授業をしっかり受け、家庭でそれを整理し、確かめ、そして足りないところを補ってこそ、効果があり、学習が楽しくなるのです。

## 家庭学習で身につけてほしい力

家庭学習を実践していくときにみなさんに身につけてほしい力として、「自己マネジメント力」があります。「自己マネジメント力」とは、自分で学習や生活を改善する力のことです。

- ① Research (リサーチ: 自分を知る)
- ② Plan (プラン: 計画する)
- ③ Do (ドゥ: 自ら学習する)
- ④ Check (チェック: 確かめる)
- ⑤ Action (アクション: 見直す)

- ①では、「自分の得意分野や苦手分野を確認します」
- ②では、「得意分野をさらに伸ばすため、また、苦手分野を克服するために学習をどのように進めるか計画を立てます」
- ③では、「実際にワークやプリントを使った復習や、問題集などを利用した発展学習に取り組めます」
- ④では、「学習した結果、できるようになったのか、まだ不十分なのかを振り返ります(単元テストや定期テストがよい機会です)」
- ⑤では、「学習方法や内容が十分でない場合に修正を加えます」

①から⑤までの流れを家庭学習に取り入れていきましょう。そのためには、家に帰ってからの生活を見直すことも必要になってきますね。だからこそ「自己マネジメント力」を身につけ、学習も生活も充実させられるようにしましょう。

荒海中学校

## 家庭学習の時間のとり方と学習の目安

### 家庭学習時間のとり方

#### 標準的な学習時間

※ 人によって時間のとり方は、違うと思いますが、通常中学生は、学年プラス1時間の家庭学習時間が必要です。本校では、学習内容を考えると以下の時間を家庭学習の標準時間とします。

1・2年生	2時間程度
3年生	3時間程度

### 【 家庭学習の目安について 】

- ★ 数学と英語は、勉強しない日がないよう毎日行う。(予習が効果的です。)
- ★ 国語、理科、社会は、自分の得意・不得意分野を確認した上で予習復習の方法を見つけ実践しましょう。
- ★ 音楽、美術、保健体育、技術・家庭は、課題が出された時に確実に提出できるように取り組みましょう。
- ★ 不得意教科対策を立てて取り組むことは、大変重要なことです。
- ★ 読書も計画的に行いましょう。寝る前など10分程度でいいので毎日「読書の時間」を作ってみましょう。
- ◇ 「R-PDCA」を意識して、家庭学習に取り組み「自己マネジメント力」を身につけていきましょう。
- 勉強ばかりでなく・・・
- 学校行事の日程、家庭生活における自分の役割(家事手伝い)も考えに入れる。
- 睡眠、休憩、運動、レクなどの時間を十分にとり、健康面からも「むりなく・むだなく・むらなく」長続きするように考える。

## <家庭学習の進め方>

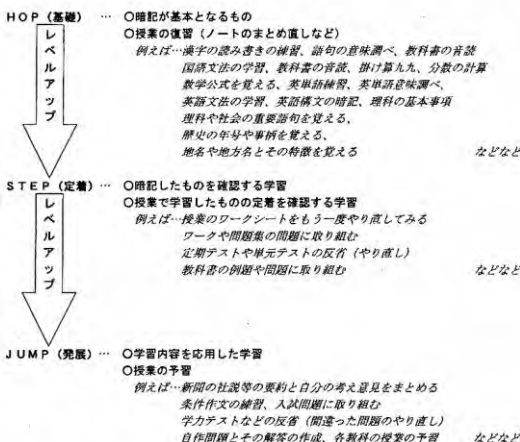
富岡一・二中三春校

国語	国語はすべての教科の基本。数学であれ理科であれ、文章を読む力がなければ問題を正確に解くことは難しい。長期的な視野に立ち家庭学習に取り組もう。 1 その日のうちに復習しよう。 漢字の書き取り練習をしよう。授業の内容を自主学習でもう一度まとめたり、ワークブックで問題を解いたりしよう。 2 その他 読書に親しみ、読解力や語彙力を養おう。また、新聞を読んだり、ニュースを聞いたりして、社会の出来事にも関心を持ち、視野を広げ自分の考えを深めることも大切。
社会	社会は世界や日本で起きている様々なことに対して自分なりの考えや意見を持つこと、そして、同じ事柄に対しても複数の意見や考え方が存在することに気付くことが大切。 1 予習 次の授業で学習する教科書約2ページ分をよく読み、重要語句を確認しよう。 2 復習(1) 学習したことを、自分なりにまとめて理解しよう。 ・ 地理…地図を描いて、地形や気候、人口、産業の特色などを書き込みまとめよう。 ・ 歴史…歴史の流れがつかめるように、歴史上の人物や出来事を年表にまとめよう。 ・ 公民…専門的な用語の意味を教科書や授業のノートを活用してまとめよう。 (2) 授業で学習したことをワークで復習し、学習内容を身に付けよう。 3 その他 新聞等でニュースを見る習慣を付け、日本や世界の動きに注目しよう。
数学	数学は積み重ねの教科。基本がわからないと、どんどん大変になってくる。毎日の学習内容をきちんと理解していくことが大切。 1 予習をする ⇒ 教科書を2〜3回読み、わからないところや重要だと思われる場所を確認しておこう。 2 その日のうちに必ず復習する ⇒ 授業で解いた問題をもう一度解いてみよう。できなかった問題は、できる(わかる)ようになるまで取り組もう。 3 週のまとめをする ⇒ 問題集を解き、1週間の学習内容を振り返る。間違いは消しゴムで消さずに、余白などにもう一度書き直そう。特に重要な部分は赤ペンなどで強調しておこう。
理科	理科は自然界のさまざまな原理や法則を理解して、それを活用できるかどうか大切な教科。授業で学習した内容を家庭学習でしっかり振り返ろう。 1 今日学習したことは今日理解しよう。 (1) 重要語句やその意味をまとめよう。 (2) ワークブックやプリントなどで学習内容を振り返ろう。 ① 解く問題は、一問一答のものだけでなく記述式の問題、計算問題やグラフから読みとる問題について重点的に取り組もう。 ② 問題を解いたら必ず答え合わせをし、確実に理解しよう。 2 身の回りの現象や、新聞・テレビなどのニュースから自然現象に興味を持とう。
英語	英語は「毎日の積み重ね」が大切な教科。授業で学習した表現や新出語句をその日のうちに復習しよう。 宿題で復習することが英語力を伸ばすポイント! 1 授業で学習した語句や英文を、ノートに何度も練習しよう。 ※ 「手本を隠して書けるようになるまで」練習しよう。練習したら自己テストをして、覚えるまでさらに練習することが大切。 2 新しい表現や文法をワークブックで復習しよう。 ※ まず自分の力で解き、その後すぐに解答、まちがった問題やわからなかったところは「解説」を読み、赤ペンで正答を書き込もう。 3 教科書本文を暗唱できるくらい、音読練習をしよう。

小名浜第二中学校

## 第1学年 自主学習の進め方

継続は力なり。毎日1ページ以上の自主学習を行いましょう。ただ…「何をやらしたいのか分からないなあ」「どんなふうにノートにやるのかな。」といった思いもあると思います。ここにいくつか例を挙げますので、参考してください。しかし、これに限ったことではありません。自分が自主学習を継続していく中で、自分なりのやり方や方法が見つかるかもしれません。どんどん工夫を凝らして進めてみてください。



### ☆1学年での約束☆

- 1 毎日、ノートに1ページ以上をやること。(ノート1ページの8割以上は使用すること)
- 2 学校したら朝の学活前に担任の先生の机に提出すること。(スマイルライフも一緒に)
- 3 自主学習は家庭でやってくる。復習の直前や朝練の時間にあわせて学校でやったりしないこと)
- 3 各教科の宿題でやったものを、自主学習として提出しないこと。(自主学習は自主学習)
- 4 休日もやること。(例えば、土曜、日曜が休みであれば、金曜・土曜・日曜の分(3ページ以上)を月曜日に提出すること)

# 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等

小田倉小学校 第3学年 家庭学習カード 名前 No.

月日 曜日	れんらくやメモ	しゅくだいメニュー 習熟のこだい	家庭印	今日の学習の ふりがえり	担任印
(月)		①音読 ②かん字 ③プリント1まい ④自主学習(2学期から)			
(火)		①音読 ②かん字 ③プリント1まい ④自主学習(2学期から)			
(水)	レベル1(夕食時だけ済す) レベル2(2時間まで) レベル3(1時間以内) レベル4(朝食時だけ) レベル5(ノーマディア)	レベル <input type="checkbox"/> にちょうせん ノーマディアの取り組み		ノーマディアのほんせい	
(木)		①音読 ②かん字 ③プリント ④自主学習(2学期から)			
(金)		①音読 ②かん字 ③プリント ④自主学習(2学期から)			

おうちのかたから 連絡など

小田倉小学校第4学年 家庭学習カード 名前 No.

月日 曜日	学習・準備・メモ	家庭・メニュー	ふりかえり	担任印
(月)	家庭学習時間( )分	①音読 <input type="checkbox"/> ②かん字 <input type="checkbox"/> ③プリント <input type="checkbox"/> ④自主学習 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 確認チェック	
(火)	家庭学習時間( )分	①音読 <input type="checkbox"/> ②かん字 <input type="checkbox"/> ③プリント <input type="checkbox"/> ④自主学習 <input type="checkbox"/>		
(水)	家庭学習時間( )分 レベル1(夕食時だけ済す) レベル2(2時間まで) レベル3(1時間以内) レベル4(朝食時だけ) レベル5(ノーマディア)	レベル <input type="checkbox"/> にちょうせん ノーマディアの取り組み	<input type="checkbox"/> ノーマディアのほんせい	
(木)	家庭学習時間( )分	①音読 <input type="checkbox"/> ②かん字 <input type="checkbox"/> ③プリント <input type="checkbox"/> ④自主学習 <input type="checkbox"/>	4枚 1ページ	
(金)	家庭学習時間( )分	①音読 <input type="checkbox"/> ②かん字 <input type="checkbox"/> ③プリント <input type="checkbox"/> ④自主学習 <input type="checkbox"/>		

おうちのかたから 連絡など

新年明けましておめでとございます。2019年のスタートです！  
5年生への進級が楽しみですね。目標をもって毎学年の生活ができるように、力を付けましょう。  
＜学習と生活のメリハリ＞ 毎日のふりがえり 算数・国語・英語・理科・社会・音楽・体育・美術・家庭科・英語・外国語・総合

- 朝の準備をスムーズにする。(着替え・歯磨き・朝食・学習用品の確認)
- 朝のラッパや3分間定に切り込む。(駅伝距離100m、ゴールを目指す)
- はつきりとした姿勢。(姿勢の正しい確認をする)
- 授業開始時刻までに学習準備をすまじ、着席する。
- 「今、何をすべきか。」考えて行動する。(始めのエンタツ、はじめのプレーキ)

桜小学校

## 家庭学習の記録と反省

6年1組11番 名前( ) ABCで評価

月日 曜日	家庭学習の時間 家庭の本の題名	読書時間	自主学習の内容	家庭学習時間	評価	先生印
6/24 月	空想 ぼくはババは及まぬ 花子の気持	60分	国英社(理) 英家庭音保	10分	B	
6/25 火	ようこそ 私たちの町へ	5分	国英社(理) テスト練習	74分	A	
6/26 水		4分	国英社(理) 租税のしくみ	80分	A	
6/27 木		4分	国英社(理) 英家庭音保	72分	B	
6/28 金	ようこそ 私たちの町へ おくさむしり	24分	国英社(理) 宿題(算数)	99分	A	
6/29 土	せんねん せんねん	12分	国英社(理) テスト勉強(算数) プリント	64分	B	
6/30 日	ようこそ 私たちの町へ	4分	国英社(理) 一学期までの学習問題	48分	B	

【1週間の反省】  
宿題が4日以上できなかったが集中して読めることができた。  
わては、た、自主学習として3冊目が終わるので集中して読めるように頑張りたい。

保護者印

東和小学校

## 家でいっしょに学ぼうカード

2年

月日	こう目	学しゅう内よう	時間	家でいっしょに読書	サイン
5/6 (月)	音読 しゅくだい 自しゅう学しゅう				家 学校
5/7 (火)	音読 しゅくだい 自しゅう学しゅう	たんぽぽ けいこんドリル シートページ	50分	<input type="checkbox"/>	家 学校
5/8 (水)	音読 しゅくだい 自しゅう学しゅう	たんぽぽ ミッド(国)かん字 シートページ	50分	<input type="checkbox"/>	家 学校
5/9 (木)	音読 しゅくだい 自しゅう学しゅう	たんぽぽ ミッド(国)かん字 シートページ	60分	<input type="checkbox"/>	家 学校
5/10 (金)	音読 しゅくだい 自しゅう学しゅう	たんぽぽ ドリル2まい シートページ	40分	<input type="checkbox"/>	家 学校
5/10 (土)	音読 しゅくだい 自しゅう学しゅう	たんぽぽ ドリル国さく シートページ	30分	<input type="checkbox"/>	家 学校

今週読んだ本  
ふり 花まる まる (読もうし)  
かえり 自しゅう学しゅう 6回 学しゅう時間 (合計) 240分間

# 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等

東和小学校

## 家庭学習カード

3年1組

月日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日
曜日	月	火	水	木	金	土	日
音読	よいせんのうた	よいせんのうた	物語のよみかき	物語のよみかき	自分をしようか	自分をしようか	自分をしようか
宿題	プリントP5①② プリント①	プリントP5①② プリント①	プリントP5①② プリント①	プリントP5①② プリント①	プリントP9①② プリント②		
自学	自分でかんがえてやる。	自分でかんがえてやる。	自分でかんがえてやる。	自分で考えてやる。	自分でかんがえてやる。	自分でかんがえてやる。	自分でかんがえてやる。
勉強	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。
勉強時間	3:48	4:00	2:10	4:00	4:00	2:00	1:00
学習時間	51	51	51	51	51	41	43
学習内容	自分でかんがえてやる。	今日は理科の先生をしかくにかけました。	今日は、くまの先生をしかくにかけました。	今日は、くまの先生をしかくにかけました。	今日は、くまの先生をしかくにかけました。	今日は、くまの先生をしかくにかけました。	今日は、くまの先生をしかくにかけました。
その他	自学、自分で勝手に書いておいた。	かんがえておいた。	自分でかんがえておいた。	自分でかんがえておいた。	自分でかんがえておいた。	自分でかんがえておいた。	自分でかんがえておいた。

5年

自主学習表

組番 名前

東和小学校

日	曜日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24時	学習 利用時間 (分)	時間合計 (分)		
4/9	火	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校
4/10	水	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校
4/11	木	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校
4/12	金	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校
4/13	土	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校
4/14	日	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校

自主学習の時間は 毎日60分(音読・読書の時間をふくむ)を目標とします。宿=宿題 読=読書 O印=〇〇プリント 漢ド=漢字ドリル

この表は、学校がある日は必ず先生に提出して下さい。

模=模写 休短=俳句・短歌 国フ=国語プリント 計ド=計算ドリル

音=音読 漢=漢字練習 算プ=算数プリント 国ド=国語ドリル

正しい姿勢で、集中して学習をしてください。(テレビを見ながらなどはダメ) メ=メディア利用の時間(テレビ・ゲームなど) お=起きた時間 ね=布団に入った時間

# 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等

## 学習計画表

松山小学校

6年 番 名前

日付	家 読	宿題・持ち物など	自主学習	勉強計画 (勉強時間をペンでめりましょう)							反省	印(サイン)		
				3	4	5	6	7	8	9		10	保護者	担任
／												A・B・C		
(月) 【  】分		メモ		予定								【一言日記】		
				実際										
／												A・B・C		
(火) 【  】分		メモ		予定								【一言日記】		
				実際										
／												A・B・C		
(水) 【  】分		メモ		予定								【一言日記】		
				実際										
／												A・B・C		
(木) 【  】分		メモ		予定								【一言日記】		
				実際										
／												A・B・C		
(金) 【  】分		メモ		予定								【一言日記】		
				実際										

(学期使用)  
【上学年用】

## 家庭学習チェックシート

年 番 名前

- ☆ お家の人と一緒に、自分の家庭学習のようすをふりかえてみよう!
- ☆ 毎月、この中からめあてを決めて取り組もう!
- ☆ お家の人と一緒に、めあてについてふりかえろう!
- ☆ できるようになったところに、日にちを書き入れよう! ◎のらんこ、日にちが書けるようがんばろう!

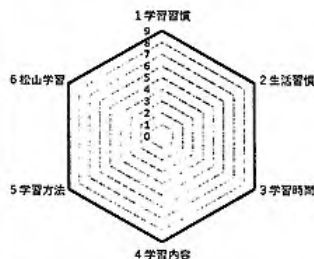
できたところに日にちを書いてね

		◎ みにみた	○ できる	△ もう少し
1 学 習 慣	① 家の人に言われなくても、自分からすすんで家庭学習をしている。			
	② テレビを消して、ゲーム、スマホなどをやめて学習に集中している。			
	③ 宿題を全部やりとけて、きちんと提出している。			
2 生 活 慣	① 毎日、早ね早起きをし、すいみん時間をしっかりとっている。			
	② 毎日、ほぼ同じ時間に、朝ごはんとはんごはんを食べている。			
	③ 一日にテレビを見る時間や、ゲームやスマホをやる時間を決めている。			
3 学 習 時 間	① 決まった時刻に学習を始めている。			
	② 50分(決められた時間)以上 学習している。			
	③ 学習カードを活用して、予定の時間通りに学習している。			

松山小学校

		◎ みにみた	○ できる	△ もう少し
4 学 習 内 容	① 苦手な教科やむずかしい問題にも、がんばって取り組んでいる。			
	② 授業のよ習やらく習をしたり、テストの見なおしをしたりしている。			
	③ いろいろなしゅるいの本を読むようにしている。			
5 学 習 方 法	① 「〇ページやる」「〇分間やる」など、めあてを決めて学習している。			
	② 分からないことはそのままにせず、調べたり聞いたりしている。			
	③ 計画した通りに家で学習できたか振り返り、よくしようとしている。			
6 松 山 学 習	① 自主学習に、すすんで取り組んでいる。			
	② 字をていねいに 書いている。			
	③ 自主学習でしたことを 次の授業に生かそうとしている。			

☆ 反省してみよう。



- ① ◎3点、○2点、△1点とし、レーザーチャートに点数を入れてみよう。
- ② 次の目標を書いてみよう。

# 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等

(別紙)

## 学習・生活 振り返りシート

学年  組  番号  氏名

このシートは、自分の学習をよりよくなるために、学習や生活の様子を振り返るものです。それぞれの項目の4~1の数字のあてはまるところに、一つずつ〇をつけましょう。学校の成績とは関係ありませんから、ありのままを答えましょう。  
(4:とてもあてはまる 3:少しあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない)

評価項目	自己評価					○自分が良くできているところ ●改善が必要なおとところ
	4	3	2	1		
1 学習習慣	① 家の人に言われなくても、自分から進んで家庭学習をしている。	1	2	3	4	
	② テレビやゲーム、スマホなどの誘惑に負けないで学習している。	1	2	3	4	
	③ 正しい姿勢で机に向かっている。	1	2	3	4	
	④ 宿題を全部やりとげ、提出日に遅れずに出している。	1	2	3	4	
	⑤ 宿題がなくても、毎日学習している。	1	2	3	4	
2 生活習慣	① 毎日、早寝早起きをし、睡眠時間をしっかりとっている。	1	2	3	4	
	② 毎日、ほぼ同じ時間に、朝ご飯と晩ご飯を食べている。	1	2	3	4	
	③ 一日にテレビを見る時間や、ゲームやスマホをずる時間を決めている。	1	2	3	4	
	④ やるべきこと(部活、習い事、家庭学習、手伝い、入浴など)と、やりたいこと(友人との交遊、阅读・観劇・音楽など)のバランスをとって、生活している。	1	2	3	4	
	⑤ うがいや手洗い、適度な運動などを行い、健康管理に努めている。	1	2	3	4	
	⑥ フォーサイトに「明日の予定」「やるべきこと」「ほめポイント」「さらにポイント」を記録し、自分の生活改善に役立っている。	1	2	3	4	
3 学習時間	① 決まった時刻に学習を始めている。	1	2	3	4	
	② 平日(月~金)の学習時間をおおよそ決めている。	1	2	3	4	
	③ 土日や祝日など学校が休みの日の学習時間をおおよそ決めている。	1	2	3	4	
	④ 決めた学習時間の間は、集中して学習している。	1	2	3	4	
	⑤ 学習内容によって、時間配分を工夫している。	1	2	3	4	

評価項目	自己評価					○自分が良くできているところ ●改善が必要なおとところ
	4	3	2	1		
4 学習内容	① 苦手な教科も学習している。	1	2	3	4	
	② 難しい問題や課題にも、がんばって取り組んでいる。	1	2	3	4	
	③ 授業の予習や復習をしたり、テストの見直しをしたりしている。	1	2	3	4	
	④ 「調べる」「まとめる」「練習する」など、多様な学習方法の中から自分の課題に合った方法を選んで、取り組んでいる。	1	2	3	4	
	⑤ いろいろな種類の本を読むようにしている。	1	2	3	4	
5 学習方法	① 自主学習に、積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	
	② テストや定期考査の前には、計画を立てて学習に取り組んでいる。	1	2	3	4	
	③ ページ数や問題の数、時間、点数など、やりとげる目標を決めて学習している。	1	2	3	4	
	④ 見直しや答え合わせ、間違え直しなどをし、学習の振り返りを行っている。	1	2	3	4	
	⑤ 分からないことはそのまませず、調べたり聞いたりしている。	1	2	3	4	
	⑥ テスト計画表やフォーサイトを活用して、見直しをもって学習に取り組んでいる。	1	2	3	4	
6 授業	① 「今日の授業で何を学習するか」を明確にして、授業に臨んでいる。	1	2	3	4	
	② 話し合い活動に積極的に参加し、自分の意見をきちんと周りに伝えることができる。	1	2	3	4	
	③ 友だちの思いや考えを聞いて、自分の考えを深めることができている。	1	2	3	4	
	④ 授業の中で学習したことを振り返るようにしている。	1	2	3	4	
	⑤ 授業の中で出てきた疑問について、後から調べたり、誰かに聞いたりして、解決するようにしている。	1	2	3	4	

## 第2学期中間テスト 学習計画表

組 番 氏名 高田中学校

- 共通目標① 計画を立てて、それに沿って家庭学習する。  
② 課題を提出日に遅れずに出す。  
③ テレビ・ゲーム・スマホの誘惑に負けないで学習する。

中間テスト、これを頑張る！！

7日(月)	1	2	3	4	5
	理科	英語	国語	社会	数学

<学習の計画とあしあと> ☆充実度… A:計画以上にできた B:計画通りにできた C:計画通りにいかなかった

日	曜	行事など	計画(教科・内容)	学習時間(分)	実習時間(分)	充実度	チェック
24	火	短縮時程					
25	水	両沼新人総会大会					
26	木	両沼新人総会大会					
27	金	両沼新人総会大会(予備日)					
28	土						
29	日						
30	月						
1	火	自由参観の日					
2	水	ノ一部活デイ フック物洗口					
3	木	県中体連駅伝大会					
4	金	県中体連駅伝大会 英語検定 中間テスト前部活動中止					
5	土						
6	日						
7	月	中間テスト 議案書審議					

小田倉小学校  
小田倉小学校

## 家庭学習確認の時間（家学タイム）計画

1. 目的

自ら学ぶ力（その日学習したことを振り返る、メディアコントロールができる、家庭学習の計画を立てたり実行したりすることができる、もっと難しいことや補充が必要なことに気づき新たな計画を立て実行することができる）を育てる。

<下学年>

- ① 宿題は必ずしなければならぬ課題（主に「読む」「書く」「計算する」などの基礎学力を身に付けることをめざす）であることを理解させる。
- ② 1日の学習の反省を行い、よく理解できなかった内容を考えさせる。  
（苦手な内容をカバーする）  
方法：必要に応じて、個別にアドバイスをしたり、チェックをしたりする。
- ③ 宿題の内容を伝える。
- ④ 明日の学習の予定を知らせる。（興味ある課題に挑戦する）

<上学年>

- ① 自主学習の進め方や視点等について具体的に指導し、宿題だけでなく、自主学習を行うことで、自分で課題を見付け、追求する力が育ち、思考力や表現力など、社会人として必要な力が身に付くことを理解させる。
- ② 1日の学習の反省を行い、よく理解できなかった内容を考えさせる。  
（苦手な内容をカバーする）  
方法：必要に応じて、個別にアドバイスをしたり、チェックをしたりする。
- ③ 宿題の内容を伝える。
- ④ 明日の学習の予定を知らせる。（予習の習慣を促す。興味ある課題に挑戦する）
- ⑤ 自主学習の内容を考えさせる。 ⑥ 自主学習に取り組む。

2. 時間

通常日課 14:25～14:35（10分間）  
短縮日課 13:50～14:00（10分間）

3. 方法

児童各自が1日の学習を振り返り、明日の学習予定の確認を行う。宿題については、担任から児童に伝え、連絡帳やプリント（3～6年は家学ファイルを使用）に記入する。自主学習の内容については、「得意なことを伸ばす」「苦手な内容をカバーする」「興味ある課題に挑戦する」の3つの視点で考えさせる。自主学習が決められない児童に対しては

- 担任が与えたメニューの中から選ばれる。
- 下位児については学習する場所を提案する。

などの支援を行う。「学習の手引き」及び「各学年で身に付けたい力」も参考にさせていただきます。

4. その他

「得意なことを伸ばす」「苦手な内容をカバーする」「興味ある課題に挑戦する」の3つの視点にあった自主学習を行っている児童のノートを賞賛し、コピーなどをしてクラスや学年の児童に紹介をする。（形式は教育計画（家庭学習カード）より）

小田倉小学校

# 家学タイム

小田倉小学校

普通日課、短縮日課にかかわらず行います。CDを使用します。1年生から6年生まで同じ時間に、少しずつアップデートしながら積み上げていくことで、  
「自分の学習状況を振り返る力、計画を立てる力、  
実行する力、工夫・修正する力」を育てていきましょう。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
始める前	CDを準備し	係の子がCDや必要なもの（連絡帳、家学ファイル、漢字ノートなど）を出す	Next Panelを準備し			
家学タイム	1学期 家族がなくなった、席につく、帰りの用意をする。 例) 読み聞かせ 読み盛り	1・2学期 連絡帳へ必要なもののメモができるようにする。 3学期 家学ファイルへの移行を考えて2週間程度カードに書き換える。	家学ファイルの書き方を教える。一週間のメモが分かる。言葉の切り替えて理解や学習を進めることができるようにする。 1 今日の漢字学習 2 連絡記入 3 振り返り 4 担任印・自分を役立てる・整理整頓 6校時準備 5 帰りの用意	・ 自学内容の選択紙から選ぶ ・ 指定自学を行う ・ 係の子がおすすめ自学を伝える ① 連絡事項・今日の学習の振り返りを記入する ② 自主学習へ取り組む （宿題は自宅で行う、あくまでも自主学習計画・実行の力を育む） ③ 片付ける・机の中の整理整頓 ※ 担任確認印は翌日		
終わった後	CDや、家学タイム掲示を片付ける 帰りの会・さようなら					
宿題と自学	①音読 ②暗算・計算 ③プリント ④作文・日記 ⑤自主学習	①音読 ②漢字 ③プリント ④作文・日記 ⑤自主学習	①音読 ②漢字 ③プリント ④作文・日記 ⑤自主学習 （1ページ）	①音読 ②漢字 ③プリント ④自主学習 （1ページ） ⑤作文・日記	①音読 ②漢字 ③プリント ④自主学習 （1～2ページ）	①音読 ②漢字 ③プリント ④自主学習 （2ページ） ⑤作文・日記

※7学年の子どもたちも含め、個や学級の実態に応じて、育てていきましょう

東和小学校

## 8 学力向上推進計画

1 ねらい

児童が将来にわたって自己実現を図ることができるようにするために、日々の授業を基盤とし、義務教育の9年間を見据えて、一人一人に確かな学力を育むことができるようにする。

2 内容

(1) スキットタイムについて  
授業スタンダードを活用し、授業の質的改善を図る。

(2) スキットタイムについて  
（ねらい） 学習内容の補充・発展を図るとともに家庭学習の仕方について指導する。  
（日 時） 火曜日、木曜日 13:15～13:35  
（内容等） 補充・発展問題  
（留意点） 授業との関連を図る。

(3) 学習の手引きについて

- ① 「国語科」「算数科」の学習の手引きに基づいて授業を進めていくようにする。
- ② 学習の手引きとノートの使い方は、印刷して児童に配付し、ノートの表紙に貼って活用していきようにする。また、教員に指示しておく。

(4) 学習の約束について

- ① 「東和っ子の学習の約束」に基づいて、よりよい学習習慣を形成したり学習環境を作ったりすることにより学力の向上に努める。
- ② 月末に反省する時間を設け、自己の振り返りさせるとともに、家庭への啓蒙を図る。

(5) 小・中連携について

- ① 授業力の向上を図る。  
○ 小学校教員と中学校教員が、互いの授業を参観したり授業研究会に参加したりすることを通じて研修を図る。
- ② 学習習慣が、小学校と中学校の9年間を通して、連続したものになるようにする。  
○ 発達段階に応じた家庭学習の習慣化への指導
- ③ 小・中学校の教員が相手の取り組みを知り、理解する。  
○ 授業への意見交換会、生徒指導に関する情報交換、施設・設備の相互活用、各種行事に対する相互支援

(6) 家庭学習について

- ① 時間の目安  
○ 学年×10+10分（1年…20分、2年…30分、3年…40分、4年…50分、5年…60分、6年…70分）
- ② 留意点  
○ 宿題の他に「自主学習」を推奨し、自分で課題を設定し、自分の課題に沿った学習に取り組ませるようにする。（「家庭学習スタンダード・家庭学習の手引き」の活用）  
○ 学年に応じて、児童の意欲を高め、家庭学習の習慣化を図る手立ての工夫をする。

(7) 学力テスト対策について

- ① 各種テストの年間計画

実施月日	検査名	実施教科	実施学年
4月11日	ふくしま学力調査	国語、算数	4～6年
4月18日	全国学力・学習状況調査	国語、算数	6年
2月20日～ 2月21日	NRT学力検査	国語、算数 国語、算数、理科、社会	1～2年 3～6年

② 内容

各種問題	実施学年	実施時期
全国学力調査の過去問題	5～6年	5年3学期～
活用力育成シート	4～6年	通 時

③ 方法

- 分析結果を活用し、授業やスキットタイム、家庭学習等で、繰り返し取り組ませる。
- フォローアップシート（4～5年）、ジュニアオリエンテック問題（5～6年）は、適宜取り組ませる。

高野小学校

# ぐんぐん

学力向上委員会より No.1  
平成30年4月13日（金）  
文員

毎週水曜日はノーゲーム・読書デー！ ☆5月からスタート☆

昨年年度までは、0のつく日がノーゲーム・読書デーでしたが、今年度からは毎週水曜日にしたいと考えています。  
・毎月1枚の記録用紙に記入  
・めあてとふりがなりの記入

高野小家庭学習スタンダードの作成

主体性をはくむ家庭学習を目指し、学習時間の目安や学習内容、取り組み方について共通理解を図りたいと思います。

ふくしまの「家庭学習スタンダード」では・・・

学校の取組として

- ① 共通理解を図り指導します。  
（学年に応じた「家庭学習の手引き」・宿題の内容や量の調整）
- ② 授業と家庭学習をつなげます。  
（予習・復習を効果的に生かした授業）
- ③ 内容・方法を指導します。  
（学習内容・方法、時間、ノートの使い方）  
（「調べる・考える・書く」を中心とした活用型の宿題）
- ④ 協力・連携体制を築きます。  
（小中学校間での共通理解）  
（家庭学習についての子どもと保護者からの相談の機会）

現題の時間をお借りして、少しずつ進めさせていただきます。先生方から様々なアイデアをいただき、よりよいスタンダードをつくりあげていきたいと思っております。  
まずは、③の学習内容から作成します。詳しくは別紙をご覧ください。



令和元年度版「家庭学習スタンダード」自校化推進全体計画

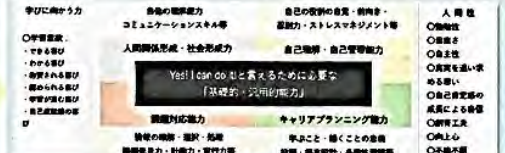
いわき市立高野小学校

…高野小・内郷三中教育課程構成共通スローガン「Yes! I can do it(私ならできる!)」という子を育てるために…



本校児童における  
学校生活における

- ① 与えられたことはきちんと行う子どもが多く、まじめな態度で取り組む。特に、授業中は机に向かい、集中して取り組む。特に、授業中は机に向かい、集中して取り組む。
- ② 小規模学校特有の人間関係に馴染み、互いに助けあふ雰囲気がある。コミュニケーションの必要がある場面も多い。
- ③ 主体的な態度で取り組む子どもが多く、授業中の発言や質問が積極的である。
- ④ 中学生や卒業生の進路がより明確になり、進路意識が高まっている。



- 家庭学習の主体性・学びの習慣の実現
- ① まじめに取り組む子どもとあきらまじりなりの進歩が大きい。個人差は、個人の性格や能力以上に家庭環境や関心などの差がある。
  - ② ゲームや動画視聴に時間を費やす傾向がある。
  - ③ 家庭学習に対する関心は高く、学校での学習が中心で、家庭学習が中心ではない。
  - ④ 習慣がしっかりと定着している。
  - ⑤ 進歩は少ないが、進歩を目標として取り組んでいる。

学校としての確かな方針を示し、家庭と連携しながら、子ども自身が自らの考えで進んで家庭学習に取り組むことを通して生きていくための基礎的汎用的能力を含めた豊かな人間性の向上をめざして

学校児童の実態とめざす学びを規定した学校教育課程を推進する

<p>学校としての家庭学習の価値や方針の明確化</p> <p>取組Ⅰ 保護者会での校長の説明・授業資料 資料①「くんでんびる家庭学習」 資料②「くんでんびる家庭学習 学習メニュー2019」</p> <p>取組Ⅱ 保護者全体会やPTA 母教委員会での保護者研修 資料①「保護者全体会 ゲームに集って」 資料②「PTA 母教委員会子どもと読書について考えよう。」要項</p>	<p>取組Ⅲ 家庭学習の計画化と自己反省の取組 資料①「自主学習メニュー表」 資料②「自主学習カレンダー」(たてくんでんびる) 資料③「学習カレンダー・家庭学習の記録」</p>
	<p>取組Ⅳ 学校図書館の積極的な利用と読書推進 資料①「ノーゲームデー」から「ノーゲーム・読書デー」へ 資料②「読書ポイントカード」 資料③「令和元年度読書表」</p>
	<p>取組Ⅴ 望ましい生活習慣の改善を目指した生活点検 資料①「こうつあせんけん用紙でチェック」 資料②「かていくしゅう用紙でチェック」</p>
	<p>取組Ⅵ 授業と家庭学習をつなぐ自主学習のための教員研修 資料①「家庭学習実践研修」 資料②「家庭学習実践研修」</p>
	<p>取組Ⅶ 望ましい家庭学習のための保護者研修 資料①「保護者研修」 資料②「保護者研修」</p>
	<p>取組Ⅷ 望ましい家庭学習のための教員研修 資料①「家庭学習実践研修」 資料②「家庭学習実践研修」</p>

現職教育 実技研修会 令和元年6月14日(金)

家庭学習まる付けOJT

運動会が終わる、授業や家庭学習も落ち着いてできる季節になりました。この機会に自主学習ノートや漢字ノートのまる付けについて研修を行い、先生方のスキルアップをめざしたいと思います。

以前、秋の小学校の先生と意見交換をした時、秋のたくさんの方の小学校では、校内研修を生かして、まる付けの研修を行っている宿題の量も左右されます。しかし、それぞれの先生方のまる付けの仕方や考え方の情報交換しただけでも参考になると思います。

まる付けは、教師個人のスキルでかなり左右されます。また、その先生の忙しさにも左右されます。子どもたちに出している宿題の量も左右されます。しかし、それぞれの先生方のまる付けの仕方や考え方の情報交換しただけでも参考になると思います。

- 1 目的
- ① 子どもの意欲を高めるまる付けの仕方を研修する。
  - ② まる付けに関する情報交換や悩みを共有する。
  - ③ いろいろな学年の自主学習を見ることにより、発達段階や個人差に応じた自主学習の在り方を研修する。

2 研修

(研修1) 校長の自主学習ノートへの思い

ケース1 5年生 のノート  
このように自主学習ノートの用紙に目標を設定している子どもには、そのノートが終わるたびに「おめでとうケーキ」を書いてあげました。

ケース2 3年生 の自主学習ノート  
自主学習の題名「こうつあタイム」や「コンパス」等の書くスペースがあるこのノートは、いいなあと思いました。書くスペースがなくてもこういう題名を書く

家庭学習の実践のポイント

三春町立岩江中学校

1 「家庭学習」(宿題+自主学習)についての全職員での共通理解事項

- (1) 家庭学習(宿題+自主学習)の在り方(目的、内容、量など)  
→「家庭学習の手引き」の作成・活用  
構りの学活時の家庭学習の計画記入・担任確認
- (2) 宿題の点検と活用の仕方  
→ 教科員の活動、授業等へのつながり  
生徒の負担を考慮した各学年・学級、各教科からの家庭学習(宿題+自主学習)の出し方  
→「家庭学習掲示板」の作成・活用(教科員の活動)
- (4) 学年や個人差を考慮した、また、学習内容や習熟度に応じた宿題の出し方  
→ 教科担任の工夫(可能な範囲で)  
→ 保護者への協力のおねがいおよび啓蒙の仕方  
→ 年度当初に文書配付  
「家庭学習スタンダード」の活用とともに「家庭学習の手引き」内の計画・記録欄への押印

学級	国語	数学	自主	その他
1の1	なし	アリ		1p
3の2	アリ	なし	2p	3p

※教科員が記入する。マゼンタの枠は1週間も経過する。記入されと返却するために、なしの場合も記入する。教科員は授業前日のスペースの確保、実施後に確認。

2 「家庭学習」(宿題+自主学習)の実施にあたっての留意点

- (1) 必要性を生徒に伝える。  
→「家庭学習の手引き」を用いたガイダンス
- (2) やり方を具体的に教える。  
→ 学級担任、教科担任、それぞれの立場でのアドバイス
- (3) 分量・内容を考える。  
→ 場合によっては、子どもの能力や興味・関心、習熟の程度に応じた出し方や、また、子どもの負担も考え、最も効果的な分量や内容で  
→「家庭学習掲示板」を活用して、教科・学級間での調整も大切
- (4) 学習の習慣化につながる宿題にする。  
→ 学習への意欲を高めることで、学習の習慣化に
- (5) 提出させた後のことも考える。  
→ 子どもの努力を認め、励ますようなチェックの仕方の工夫(可能な範囲で)  
→ 採点が必要なのは、全員の提出物の採点  
→ 間違っているところのチェック・添削等  
→ 全員の宿題に目を通し、ほめる言葉・励ます言葉等、コメントの記入  
→ よくできたところの賞賛、間違ったところは、分かるまで指導  
→ よかった内容、特徴的なこと、優れた発想などについての紹介  
→ 間違いが多かった問題を授業で取り上げるなど、宿題を「次の授業に生かす」こと
- (6) 教師自身、出した宿題について振り返りをする。  
→「自分の出した宿題はどうだったか」ということを、子どもの取組の様子を見ながら自己評価や工夫改善  
教師間で情報交換をし、効果的な処理の仕方や評価など、よい実践があったら、それらを取り入れる

3 ふくしまの「家庭学習スタンダード」の活用

家庭での学習の充実のために、ふくしまの「家庭学習スタンダード」を参考にして、子どもたちの「自己マネジメント力」を育む。

**渡利中学校家庭学習スタンダード**

家庭学習のスタンダード(福島市版より)

渡利中学校

生徒の学力の向上は、本校にとっても大きな課題の一つであり、現職教育を中心とした授業改善、「家庭学習スタンダード」を活用した組織的な家庭学習の指導によって生徒一人ひとりの「確かな学力」の育成を図る必要があります。さらに、生徒が生涯を通じて自己の向上に努め、豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していくためにも、学校での学習はもちろんのこと、家庭での学習を充実させていく中で自己マネジメント力を高めていくことが大切になります。

**1 家庭学習の重要性と学校としての取り組み (1) 重要性**

- ①「生涯を通じて自己の向上に努める」基盤づくり  
 変化の激しいこの時代においては、職業の在り方や働き方、社会の在り方そのものも激変を繰り返していくことが予想されます。このような時代の中で、生徒たちが未来を切り拓き、生涯を通じて社会で活躍し、豊かな人生を歩み続けていくためには、社会に出た後も学び続け、新たに必要とされる知識や技術を身に付けていくことが求められます。学校教育では、生徒たちに「生涯を通じて自己の向上に努める」基盤をつくるのが重要であり、それは、学校における学習のみでなく、家庭学習を通して培われていきます。
- ②「学力」と「自らの学びをマネジメントする力」の向上  
 「学校での学習→家庭での予習・復習→学校での学習」というサイクルを確立することで学習内容が確実に定着します。また、授業で学習したことをその日のうちに家庭で繰り返し学習することにより、記憶がより確かになります。予習をすることで見通しがもてたり、予習で分からなかったことが授業で明らかになり、意欲的に授業に取り組むことができるようになります。授業と家庭学習が連動することで、「分かった」「できた」という体験が増え、学習が楽しくなります。そのようなことが、生徒たちが主体的に取り組むきっかけにもなり、自らの学びをマネジメントする力も育っていきます。これが生涯を通じて学び続ける態度の基盤となります。

**(2) 学校として取り組み**

- ①共通理解を図り、系統的・計画的な指導を組織的に行う  
 「渡利中学校家庭学習スタンダード」を系統的な指導のめやすとし、全教員・保護者・中学校区で確認し合い、組織的に家庭学習の指導を行う中で自らの学びをマネジメントする資質や能力を育成していきます。
- ②家庭学習の「質」と「量」を重視した点検・評価を行う  
 学年に応じて自主学習の「質」や「量」を高めていきます。授業の復習や予習だけの学習から、検定等の対策や高校入試対策など自己の目標実現に向けた学習への移行を進め、自ら課題意識や必要感をもって家庭学習に取り組む態度を育成していきます。頑張りを認め・ほめることで意欲を高め、習慣化を図るとともに、生徒個々の能力や学習内容の進捗の度合いを適切に把握し、個に応じた支援を行うことで「量」や「質」を高めていきます。ノートに目標を書き、自己評価や教師による評価を適時行っていくことで「マネジメント・サイクル(PDCAサイクル)」の確立を図ります。また、授業と家庭学習を連動させた授業を意識して行っていくことで、生徒に「授業と家庭学習のサイクル」を定着させていきます。

**【具体的な自主学習ノートの活用法】**

- ※ 始めにノートに、目標(◎)を書きましょう。 例) Unit 3①の単語を覚える。
  - 国語・・・漢字の読み書き、語句の意味調べ、短文づくり  
 ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
 新聞記事の要約や感想記述
  - 数学・・・間違えた問題のやり直し(計算の手順がはっきりわかるように・計算式をていねいに書く)⇒(正しくできるようになったら)進さも追求
  - 英語・・・単語練習(必ず最後はテスト形式で確認)  
 教科書の基本本文の書き出し。自分で単語を( )にして解答  
 ( )の数を段階的に増やして最終的に英作文の練習  
 ワークやプリント等のできなかった問題のやり直し
  - 理科・・・教科書の重要語や記号、観察・実験についてのまとめ  
 ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
 重要語句や記号、公式等を繰り返し書いて練習
  - 社会・・・教科書の内容のまとめ  
 重要語句の書き出し。(その説明付き)  
 本や新聞を読み、教科書の内容と比較し感想を記述  
 (地理：各地をたずねた紀行文 歴史：学習マンガ  
 公民：新聞やニュースからの時事問題)
  - 音楽・・・授業で教科書等にメモしたことをノートに整理  
 習った歌についての記号の名前と意味の確認
  - 美術・・・スケッチ・重要語句等の確認
  - 技芸・・・学習ノートを活用し重要語や事項を書き出し復習
  - 身体・・・教科書やワークから理論に関する重要語や事項を書き出し復習
- ※ 終わりに、成果や反省を具体的に書きましょう。
- 例) 英単語を○個覚えて書けるようになった。 / 計算ができるようになった。



③保護者への啓蒙を行う

「渡利中学校家庭学習スタンダード」(保護者用)を活用して、保護者に家庭学習に対する理解と協力を得ることで、実際の学習の場である家庭での環境整備を進めます。家庭には「基本的な生活習慣の定着」、「学習環境の整備」、「家庭学習への励まし」を重点に生徒の支援をお願いすることで、学校と家庭が連携して家庭学習の効果を高めていきます。

家庭学習	
宿題	自主学習
授業における学習内容の習熟、補充的な内容	自主学習 1: 授業の復習予習、問題集、1・2年の学習内容の補充
例) 学習プリント、ワークブック、教科書の問題、継続的に行う受験対策用教材(3年)等	自主学習 2: 自己の目標実現のための学習(各種検定の準備、高校入試対策など)

**1・2年生:実力養成期**  
 「学習内容・量などを調整し、計画的・継続的に学習に取り組む」

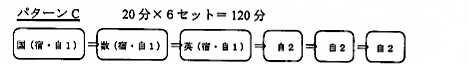
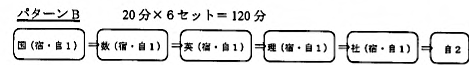
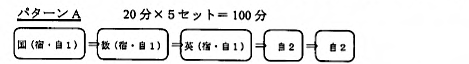
- 自分の生活を見通して学習プランを立て、集中しやすい時間帯に集中しやすい場所で学習する。
- 何を学習しなければならぬのかを考え、教科の組み合わせを工夫して学習する。
- 自主学習 1 (復習・予習)を中心に学習する。

**3年生:完成期**  
 「進路実現に向け、自立的に学習に取り組む」

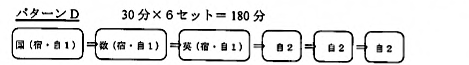
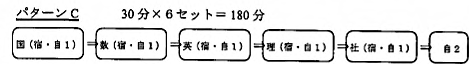
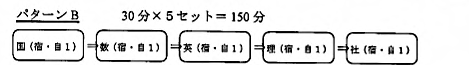
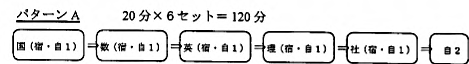
- これまでの経験を生かし、自分なりの学習スタイル(時間、場所、取り組み方など)を確立する。
- 授業の復習・予習に加えて、自己の目標実現のための学習(自主学習 2)にも計画的に取り組む。

**2 家庭学習の取り組みの例**

【1・2年生】 ※時間はあくまで目安です。 宿:宿題, 自:自主学習



【3年生】





# はばたけ

郡山市立桜小学校  
4年生学年懇談資料  
平成30年4月19日号

## 宿題の3点セットについて

漢字や計算問題などの知識の定着や技能の向上、「家に帰った後も必ず一定時間学習する」といった習慣の形成を目的に、宿題を出します。

4年生では次の四つを基本に毎日の宿題にします。

- ①音読 ②漢字(国語) ③計算(算数)

中学年の家庭学習の時間のめやすを40~50分としていますので、もし早く3点セットが終わった場合は自主学習などにも取り組んで欲しいと思います。

ただ、やる気いっぱいの子もたくさんです。自主学習は負担になりすぎない程度で取り組むようにしてほしいと思います。

## 家庭学習カードについて

先週、子どもたちに家庭学習カードを配付しました。これは自分の家庭学習の足跡を残し、家庭学習の習慣化を図る目的で行います。

子どもたちには毎日、家庭学習の振り返りや実践に行った学習(宿題も含む)を記録してもらいます。また、日曜日には一週間の振り返りも書くようにしています。

おうちの方にも毎日、子どもたちの家庭学習カードを見ていただき、サインの記入をお願いします。そして、日曜日には、子どもたちの家庭学習の様子についての気づきや子どもたちへの励ましなどのコメントの記入や印をお願いします。

# 家庭学習の仕方

## 1 家庭学習の5(ファイブ)ポイント

- ① 毎日、時刻を決める。(0時△分から50分)
- ② 机の上と周囲をきれいにし、必要なものをきちんとそろえる。
- ③ 始めたら、10分間は立ち歩かない。
- ④ しぜいを正しくする。(えんぴつの持ち方に気をつける。)
- ⑤ テレビをつけない。(～ならはしない)

## 2 家庭学習の進め方

### 【国語】

- 学習したところを2~3回音読する。
- 家にある本や図書室の本を音読する。
- 漢字ドリルで毎日新しい漢字を覚える。
- 工夫した漢字の学習に取り組む。  
※ 漢字の練習は、じゅく語で書いて練習すること。習った漢字だけをきかめ的に書いても覚えられません。
- 日記や作文を書く。
- プリントの問題を解く。 など

### 【算数】

- ドリルの問題を解く。
- プリント問題に取り組む。
- 予習をする。
- 今日やったノートを開き、新しく学習した要点をまとめる。  
※ まとめ部分や、赤線を引いた文などをノートに写しておぼえる。  
※ わかったことを、自分のことばでまとめる。 など。

### 【自主学習】

- 平日でできないようなことに取り組もう!
- 例 (読書 英語 社会や理科の復習 リコーダー なわとび お手伝いなど…)



けいぞくは力なり・・・

毎日こつこつとやっぺいこう!



## いよいよ自主学習スタート!

前にお知らせしていましたように、今週から自主学習をスタートしたいと思います。夏休みにも、復習やいろいろな問題にたくさんチャレンジしてきたお子さんがいました。まずは、週に2回は提出することができるよう子どもたちに話をしました。宿題にプラスしての学習ですので、放課後の時間をいかに使っていくかが大切になってきます。頑張って取り組んでいけるよう励ましていただければと思います。



**学習カードの記入の仕方と自主学習の進め方**

～ 記入 ～

- 1 「音読の題名」「家読の題名」には、教科書文の題名や読んだ本の題名を正確に書く。
- ② 「もつすぐ雨に」「100万回生きたねこ」「ナイトンゲール」など
- 2 「自主学習」のらんには、学習したページ数を書く。
- 3 「家の人」のところには、田かサインをかならずおうちの方に記入していただく。

～ 自主学習例 ～

- その日の授業のノートの内容をまとめて直ししたり、問題をもう一度といたりする。
- 先に読みがなを書き、テストのつもりで漢字を書く。
- 習った漢字を使って短文作りをする。
- 都道府県名や県庁所在地名を漢字で書く。
- 計算ドリルの問題を何度もといてみる。
- 言葉の意味調べをする。
- テストやプリントの問題をノートでもう一回。
- もう少しで習う学習内容を予習する。

<注意点>

- ◇ 週に2回は提出しましょう。
- ◇ ページ数をふやすためではないので、自分のために考えながら。
- ◇ 考えず、ただ書くだけ、という学習は身につけません。
- ◇ 何がポイントか考えて。(イラストやかざり文字に時間をかけすぎない)

**時間を大切にきげきと!**

学習の例をノートの貼りました、お子さんといっしょに確認をお願いします。

## 学習カードの記入の仕方と自主学習の進め方

### ～ 記入 ～

- 1 「音読の題名」「家読の題名」には、教科書文の題名や読んだ本の題名を正確に書く。
- ② 「もつすぐ雨に」「100万回生きたねこ」「ナイトンゲール」など
- 2 「自主学習」のらんには、学習したページ数を書く。
- 3 「家の人」のところには、田かサインをかならずおうちの方に記入していただく。

### ～ 自主学習例 ～

- その日の授業のノートの内容をまとめて直ししたり、問題をもう一度といたりする。
- 先に読みがなを書き、テストのつもりで漢字を書く。
- 習った漢字を使って短文作りをする。
- 都道府県名や県庁所在地名を漢字で書く。
- 計算ドリルの問題を何度もといてみる。
- 言葉の意味調べをする。
- テストやプリントの問題をノートでもう一回。
- もう少しで習う学習内容を予習する。

### <注意点>

- ◇ 週に2回は提出しましょう。
- ◇ ページ数をふやすためではないので、自分のために考えながら。
- ◇ 考えず、ただ書くだけ、という学習は身につけません。
- ◇ 何がポイントか考えて。(イラストやかざり文字に時間をかけすぎない)

時間を大切にきげきと!



平成31年度

小田倉小学校

### 家庭学習の進め方

～ふくしま「家庭学習スタンダード」をもとに「自ら学ぶ力」を育てる～

変化の激しい時代にあって、子どもたちが豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していくことは、私たち大人の共通の願いです。そのような子どもたちの未来像を描くとき、学校の学習はもちろんだこと、家庭での学習を充実させていくことがとても大切になります。

(ふくしま「家庭学習スタンダード」より)



- 自ら学ぶ力を育てるために～環境づくり、習慣づくりにご協力ください～
- お子さんのノートやプリントなどを見て、がんばった過程を認める。子どもが喜ぶべきなら、できる範囲で答える。保護者からのコメントや確認印を押す。
  - テレビを消すなど、お子さんが集中して学習できる環境をつくる。
  - 学習用具を自分でそろえられるように、一緒に確認したり、助言したりする。
- (参考: ふくしま「家庭学習スタンダード」)

### 各学年の家庭学習時間の取り方例

学年	1・2年生の例(30分)	3年生の例(45分)	4年生の例(60分)	5年生の例(75分)	6年生の例(90分)
内容	教科書習熟 10分 宿題 20分	教科書習熟 10分 宿題 25分	教科書習熟 10分 宿題 30分	教科書習熟 5分 宿題 40分	教科書習熟 5分 宿題 50分
		自主学習 10分	自主学習 20分	自主学習 30分	自主学習 35分

### 各学年で目指す家庭学習のゴール

学年	目標	視点
1	おうちのかたと決めた学習の約束に従って、おうちのかたと一緒に楽しく学習する。	学習習慣
2	おうちのかたと決めた約束に従って、声をかけられたら自分から進んで毎日の学習ができる。おうちのかたと一緒に勉強の見直しができる。	振り返り
3	おうちのかたとに言われなくても自分から毎日学習する習慣がある。まるつけの結果をみて、自分から見直しができる。	学習習慣 振り返り
4	1週間程度の期間を意識しながら、毎日やることを決めて自分で学習することができる。自分でまるつけ・見直し・解き直しができる。	学習習慣 振り返り
5	自分で目標を決めて、決めたとおりに学習を進めることができる。勉強が予定通りに進んでいないときがあれば、自分で工夫して予定を立て直している。	学習習慣
6	目標や計画を自分で考えて学習を進め、成果を確認し学習を見直し、「中学でも伸びる学習方法、姿勢」が身についている。	学習方略

(参考: ベネッセ 小学講座「学習力」より)

## 下郷町 下郷町四つ葉のクローバープラン 我が町の子どもを育てる7か条

- 第1条 早ね早おき朝ごはん**  
生活習慣を身につけさせましょう
  - 第2条 「おはよう」・「おやすみ」**  
あいさつは心をこめてさせましょう
  - 第3条 きまりを守ることは大切**  
ルールを守る子どもにしていきたい
  - 第4条 学びの習慣づくり**  
下郷学習プランを実践させましょう
  - 第5条 家族みんなで読書“家読”**  
心を豊かにする読書に親しませましょう
  - 第6条 毎日進んでお手伝い**  
家族の一員としての自覚を持たせましょう
  - 第7条 地域の取り組みに参加**  
地域のイベントや伝統行事などに積極的に参加させましょう
- プラス我が家の1か条

### ★みんなで取り組み、みんなで町の子どもを育てましょう★

#### 学びの習慣 下郷学習プラン

＜家庭学習の9年間＞

学年	チェックポイント
120～180分 受験に向けて 配り72分	①進路の実現をめざして! ②家庭学習の習慣化を図り! ③家の人と一緒に学習!
80～120分 学習 復習 自主学習	④学習時間・内容は自分でマネジメント! ⑤疑問点は先生に質問して必ず解決!
70分以上 計画を立てて 家庭学習	①テレビを自分で消します! ※学習に集中する
60分以上 計画を立てて 家庭学習	②はじめる時刻を決めます! ※決められたことはやり抜く
50分以上 自ら進んで 家庭学習	③宿題のほかには自主学習にも取り組みます! ※興味や関心を伸ばす
40分以上 自ら進んで 家庭学習	④読書に取り組みます! ※表現する力を高める
30分以上 毎日学習 習慣づくり	⑤家庭学習が終わったら明日の準備をします! ※規則正しい生活習慣を身につける
20分以上 毎日学習 習慣づくり	

（家庭学習のすすむにつれて90分を継続できれば本々好きの子どもの子になりにます）

下郷町では、確かな学力を身につけた児童生徒の育成をめざし「四つ葉のクローバープラン」に長期取り組んでいます。また、平成26年度からは「我が町の子どもを育てる7か条」をはじめ、様々な取り組みをしています。

＜下郷町全体での取組＞

- ①推進会議を定期的に開催し、町・保育所・小中学校の連携強化を図る。
- ②下郷町学力向上ブランドデザインを作成配布し、保護者の理解と協力を得ながら取り組む。
- ③児童生徒の実態把握と各校の課表を活用し、指導に活かす。GNR(横断)学力の定着度を調査(QUI横断)学級集団の実態を調査
- ④授業研究会を実施し、小一・小一・中連携を図り、授業改善・授業力向上に努める。
- ⑤保育所と小中学校の連携を深める。  
《夏休みの保育所公開》(低学年との交流)
- ⑥メディアコントロールの実施  
《家庭の協力を得て年3回(5,9,1月)》
- ⑦スマートフォン等メディア連携機器の使用  
: 2015年度の使用(50%)を高める。  
: 使用の限の厳格化(ルール)を定める。

下郷町教育委員会 下郷町小中学校PTA連絡協議会 下郷町四つ葉のクローバープラン

<保護者用>

渡利中学校

**渡利中学校家庭学習スタンダード**

家庭学習のスタンダード(福島市版あり)

渡利中学校

渡利中学校では、生徒一人ひとりに確かな学力をつけさせるため、研修を通して、日々の授業改善を進めています。その中で、より学習した内容の定着を図ったり、自ら学ぶ習慣を付けたりするためには、家庭学習が重要であると考えています。そこで本校では、家庭学習の指針となる「家庭学習スタンダード」を作成し、生徒に指導しています。

つきましては、下記に、家庭学習についての意義や内容、約束などについて示しましたので、保護者の皆様にもご覧いただき、ご理解の上、ご協力をよろしく申し上げます。

**1 家庭学習の意義と内容**

家庭学習の意義は「学力の向上」に加え、「自らの学びをマネジメントする力」の育成があげられます。そしてこれは生涯を通じて学び続ける態度の基盤となるものです。中学校の3年間では、1・2年生のうちに自分に合った「学習スタイル」を確立することが重要です。部活動もあり、帰宅時刻が遅くなるため、連続して学習時間を確保するのが難しい場合もあります。自分の生活を見つめ直し、「すきま時間」をうまく活用するよう、ご家庭でも励ましながら、学習の様子を見守ってください。3年生は「人生の節目の時期」です。将来を見据えた目標を明確に持たせることが、学習の「やる気」にもつながります。お子さんが安定した気持ちで学習に取り組むことができるよう、温かい見守りと励ましをお願いします。

宿題	家庭学習	自主学习
授業における学習内容の習熟、補充的な内容		
例) 学習プリント、ワークブック、教科書の問題、継続的に行う受験対策用教材(3年)等		
	自主学习1: 授業の復習予習、問題集、1・2年の学習内容の補充	
		自主学习2: 自己の目標実現のための学習(各種検定の準備、高校入試対策など)

**1・2年生: 学力養成期**  
「学習内容・量などを調整し、計画的・継続的に学習に取り組む」

- 自分の生活を見通して学習プランを立て、集中しやすい時間帯に集中しやすい場所で学習する。
- 何を学習しなければならないのかを考え、教科の組み合わせを工夫して学習する。
- 自主学习1(復習・予習)を中心に学習する。

渡利中学校

**3年生: 完成期**  
「進路実現に向け、自律的に学習に取り組む」

- これまでの経験を生かし、自分なりの学習スタイル(時間、場所、取り組み方など)を確立する。
- 授業の復習・予習に加えて、自己の目標実現のための学習(自主学习2)にも計画的に取り組む。

**【具体的な自主学习ノートの活用法】**

※ 始めにノートに、目標(◎)を書きましよう。例) Unit 3◎の単語を覚える。

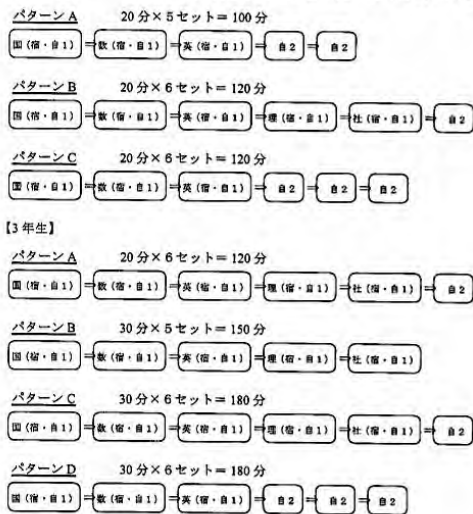
- 国語・・・漢字の読み書き、語句の意味調べ、短文づくり  
ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
新聞記事の要約や感想記述
  - 数学・・・間違えた問題のやり直し(計算の手順がはつきりわかるように・計算式をていねいに書く)⇒(正しくできるようになったら)速さも追求
  - 英語・・・単語練習(必ず最後はテスト形式で確認)  
教科書の基本文の書き出し、自分で単語を( )にして解答( )の数を段階的に増やして最終的に英作文の練習  
ワークやプリント等のできなかった問題のやり直し
  - 理科・・・教科書の重要語や記号、観測・実験についてのまとめ  
ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
重要語句や記号、公式等を繰り返し書いて練習
  - 社会・・・教科書の内容のまとめ  
重要語句の書き出し、(その説明付き)  
本や新聞を読み、教科書の内容と比較し感想を記述(地理:各地をたずねた紀行文 歴史:学習マンガ 公民:新聞やニュースからの時事問題)
  - 音楽・・・授業で教科書等にメモしたことをノートに整理  
習った歌についての記号の名前と意味の確認
  - 美術・・・スケッチ・重要語句等の確認
  - 技家・・・学習ノートを活用し重要語や事項等を書き出し復習
  - 保体・・・教科書やワークから理論に関する重要語や事項等を書き出し復習
- ※ 終わりに、成果や反省を書きましよう。
- 例) 英単語を◎覚えて書けるようになった。/計算ができるようになった。



渡利中学校

**2 家庭学習の取り組みの例**

[1・2年生] ※時間はあくまで目安です。宿:宿題、自:自主学习



◇◇ご家庭で~家庭学習を充実させるための3つのこと~◇◇

- 心の支え・コミュニケーションを大切にし、心に寄り添って良き話し相手になる。自信をなくしたり、学習成果に不安を感じているときは安心感を与える。
- 環境づくり・学習する場所を整理し、集中できる環境をつくる。家族と一緒に読書をする機会を設ける。図書館・公民館などの利用したり、体験活動に積極的に取り組ませたりする。地域行事に積極的に参加させる。
- 習慣づくり・早寝・早起きや手洗いの習慣を身に付けさせる。朝ご飯は、必ず「毎日」、できるだけ「みんなで」食べる。テレビやゲーム、スマホなどをするときのルールを決める。

富岡一・二中三春校

4月に配付

**家庭学習スタンダードの活用について(お願い)**

富岡第一・第二中学校 三春校

- 取組のねらい
  - 家庭学習の方法を見直すことにより、生徒自身の自己マネジメント力を高めます。
  - 学校と家庭が連携して支援することにより、家庭学習の質の向上を図ります。
- 期待する子どもの姿  
「自己マネジメント力=自分で学習や生活を改善し、向上させる力」をもった生徒を育てます。
- 学校の取組
  - 教師の授業力向上のために、研修を深めます。  
⇒子どもたちの興味心をひき出し、学び喜びを感じられる授業を展開します。
  - 「家庭学習の手引き」を作成し、家庭学習の進め方を指導していきます。  
⇒各教科で、予習・復習やテスト勉強の進め方を具体的に提示します。
  - 個に応じた家庭学習の課題(宿題)を与え、学力の向上を図ります。  
⇒各教科で調整し、課題(宿題)が多くなりすぎないように配慮します。
  - 全教職員が、個々の自主学习の内容や方法について助言します。  
⇒わからない内容を解決するために、いつでも質問できるような環境をつくります。
- 家庭・地域の関わり
  - 3つの視点
    - 心の支え
    - 環境づくり
    - 習慣づくり
  - 本校の重点  
「習慣づくり」に重点をおき、家庭と連携しながら望ましい学習習慣を身に付けていきます。

**STEP1 3つの目標を立てる**

お子さんと相談しながら、3つ項目についての目標を立ててください。

- 生活習慣 (例) 早寝早起き、朝食を必ずとる、手洗いをするなど
- メディアの使用 (例) テレビ・ゲーム・スマホ等の使用時間規定 など
- 家庭学習 (例) 毎日2時間学習する、決まった時間に学習する など

※ 目標は、3項目のうち1つか2つでもかまいません。

**STEP2 取組を振り返る**

保護者の方が、週末に3つの目標の達成状況をそれぞれ4段階(A~D)で評価していただきます。時間のある時にはコメント(ほめたり励ましたりする言葉)もお書きください。

**STEP3 目標を見直す**

取り組んでいく中で達成できた項目があれば、その項目の目標をステップアップさせてください。原則として、月ごとに目標を見直していただきますが、達成できなかった項目は目標を変更せず継続してもかまいません。

本校では、「STEP1→STEP2→STEP3」の手順をくり返して、よりよい習慣を身に付けさせたいと考えています。保護者のみなさまのご協力をお願いします。





「頑張る学校応援プラン」  
～ふくしまの挑戦と戦略～  
平成30年度  
学校教育指導の重点  
**ふくしまの「家庭学習スタンダード」を活用した  
家庭学習の充実に向けた実践事例集**

ふくしまの  
「家庭学習スタンダード」

**自己マネジメント力**

自分の課題を客観的にとらえる。  
自分の課題に合った目標や計画を立てる。  
計画にそって主体的に学習する。  
学習の結果や取組を振り返り、確かめる。  
学習の内容・方法を見直し、修正する。

Research 自分を知る  
Plan 計画する  
Do 自ら学習する  
Check 確かめる  
Action 見直す

「頑張る学校応援プラン」  
～ふくしまの挑戦と戦略～  
平成30年度  
学校教育指導の重点  
**ふくしまの「家庭学習スタンダード」を活用した  
家庭学習の充実に向けた実践事例集**

平成31年2月  
福島県教育庁義務教育課

平成31年2月に発行した「家庭学習充実に向けた実践事例集」(VOL.1)も併せて活用してください。

こちらから義務教育課WEBサイトからダウンロードすることができます。

